

SHARP®

取扱説明書

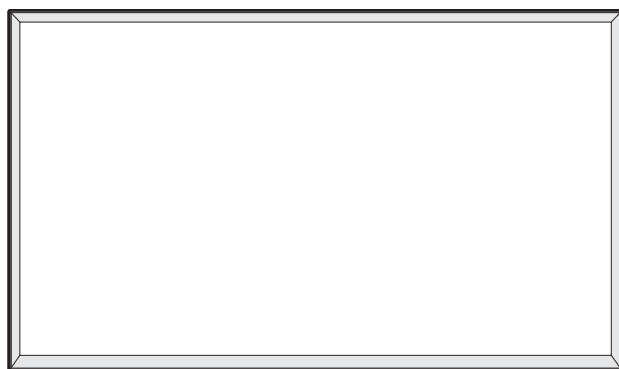
液晶モニター

形 名

LB-T601

LB-T461

LB-T401



HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」(6ページ)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- 本書内のイラストは、LB-T401で記載しています。



はじめに
お読みください

接続

基本の使いかた

調整
その他の設定

パソコンで
制御する

故障かな？

お役立ち情報
(仕様や索引)

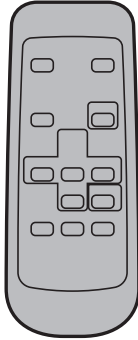
English
Guide

付属品

- 安全と性能維持のため、同梱の電源コードを必ずご使用ください。
- ネジの「M○」は、ネジ部の径が○ mmであることを表します。
- 本機を壁掛けにするための工事は必ず専門の業者に依頼してください。

共通

リモコン × 1

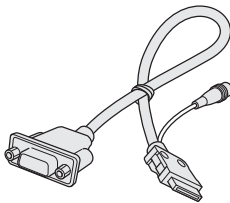


リモコン用乾電池
(単 3 形乾電池) × 2



乾電池を入れて使います。⇒14 ページ

D-sub/ 音声変換ケーブル × 1



取扱説明書(本書)

壁掛け設置説明書(横掛け用) × 1

壁掛けガイドシート × 1

縦掛け設置用ラベル (SHARP ロゴ有り / SHARP ロゴ無し) × 1

- 縦掛け設置時に使用します。表面の保護シートは剥がしてご使用ください。
- 本機を縦掛けする場合には、別売りの金具「PN-ZK40L(LB-T401/LB-T461 用)」または「PN-ZK60L(LB-T601 用)」が必要です。

LB-T401/LB-T461 をご購入のお客様へ

- SHARP ラベルに貼ってある保護シートは剥がしてご使用ください。

保証書 × 1

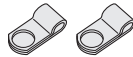
※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

LB-T601

- 本機を壁掛けにするための工事は、必ず専門の業者に依頼してください。
- 本機を縦にして壁掛けにする場合は、別売りの金具「PN-ZK60L(LB-T601用)」が必要です。

壁掛けスリム金具(上用) × 1 落下衝撃緩和用クランプ × 2 ケーブル固定用クランプ × 1



壁掛けスリム金具(下用) × 2



落下衝撃緩和用クランプネジ
M4(長さ 8mm) × 2



ケーブル固定用クランプ × 1



壁掛け用ネジ
M6(長さ 14mm) × 4



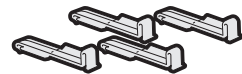
電源コード(2.5m) × 1



ケーブル固定用クランプネジ
M4(長さ 8mm) × 1



ケーブルクランプ × 4



本機を壁掛け設置します。壁掛け設置のしかたについては、別冊の「壁掛けガイドシート」「壁掛け設置説明書(横掛け用)」をご覧ください。

イラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

本機に電源を供給します。
⇒18 ページ

- 付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

ケーブル類をすっきりまとめます。

LB-T401/LB-T461

- 本機を壁掛けにするための工事は、必ず専門の業者に依頼してください。
- 本機を縦にして壁掛けにする場合は、別売りの金具「PN-ZK40L(LB-T401/LB-T461用)」が必要です。

壁掛けスリム金具 × 1



壁掛け用ネジ(上用)
M6(長さ 14mm) × 2



※壁掛け用延長ボルト(上用)
M6(長さ 17mm) × 2



※ 壁掛け時本機に接続したケーブルなどが壁に当たる場合に使用します。

壁掛け用ホルダー × 1



壁掛け用ネジ(下用)
M4(長さ 10mm) × 1



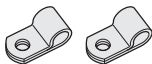
※壁掛け用延長ボルト(下用)
M4(長さ 17mm) × 1



※ 壁掛け時本機に接続したケーブルなどが壁に当たる場合に使用します。

本機を壁掛け設置します。壁掛け設置のしかたについては、別冊の「壁掛けガイドシート」「壁掛け設置説明書(横掛け用)」をご覧ください。

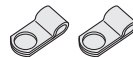
ケーブル固定用クランプ(大) × 2



ケーブル固定用クランプ(小) × 2



落下衝撃緩和用クランプ × 2



落下衝撃緩和用クランプネジ
M4(長さ 12mm) × 2

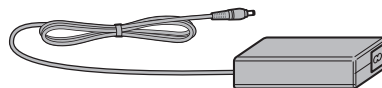


ケーブル固定用クランプネジ M4(長さ 8mm) × 4



ケーブル類をすっきりまとめます。

ACアダプター × 1



電源コード(2m) × 1



イラストと異なる場合がありますが、支障ありません。

壁掛け用クッション × 2



本機に電源を供給します。⇒18 ページ

- 付属の電源コード、ACアダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

もくじ

- 本書に掲載している画面表示やイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。
- 本機を廃棄または譲渡する場合には、設定の初期化をお願いします。(⇒ 51 ページ)

付属品	2	パソコンの音声入力端子を設定する (入力音声選択)	26
もくじ	4	USBメモリーの静止画を表示する	27
安全上のご注意	6	メニュー画面の使いかた	30
使用上のご注意	10	画面のサイズを調整する	31
キャビネットのお手入れのしかた	10	映像の左右に黒帯が出たり上下幅が 変わるときは	31
液晶ディスプレイパネルのお手入れの しかた	10	画質を調整する	32
本体各部やリモコンボタンの なまえ	12	AVポジションを切り換える	32
本体	12	画面の明るさや色を変える (映像調整)	33
リモコンのボタン	14	音質を調整する	36
リモコンに乾電池を入れる	14	音声調整をする	36
リモコンで操作できる範囲	14	壁掛け設置に適した音質を選ぶ	38
外部機器を接続する	15	ヘッドホンで聞くときの音の出かた を変える	38
HDMI出力端子が付いたレコーダー・ プレーヤーなどを接続する	15	その他の設定をする	39
HDMI CEC対応機器を接続する	16	指定した時間経過後に電源を切る (オフタイマー)	39
パソコンを本機のHDMI IN端子に 接続する	17	無信号オフの設定をする(HDMI接続時)	39
パソコンを本機のD-sub/AUDIO IN端子に 接続する	17	照明を消したときに本機の電源も 切る(照明オフ連動)	40
電源コードをつなぐ	18	リモコンまたは本体の操作をロックする (チャイルドロック)	41
電源の入/切をする	19	電源ランプの設定をする(電源LED設定)	41
電源を入れたときの画面を変える	19	HDMI CEC対応の機器を 接続したときは	42
USBスライドショー起動について	19	HDMI CEC機能を使うための設定	42
入力切換について	20	HDMI CEC対応機器から本機を自動で 起動する	42
入力切換の表示をお好みのなまえに 変えるには	20	一般のHDMI機器が誤作動するときは	42
パソコンのモニターとして使う	21	文字を入力する (ソフトウェアキーボード)	43
PC入力の画面サイズを切り換える	21	パソコンで本機を操作する	44
D-subケーブルを使用し、パソコンをつないでい るときの省エネを設定する(パワーマネー ジメント)	22	LAN設定を行う	44
アナログ接続したパソコンの 画面を調整する	23	IPコントロール設定を行う	45
自動で画面を調整する	23		
手動で画面を調整する	24		
アナログ接続したパソコンの画面が正しく映ら ないときは(入力解像度の設定)	25		

困ったときのお役立ち情報

故障かな?と思ったら	48
まず確認してください	48
全般について	49
映像も音声も出ない	49
リモコンが動作しない	49
画面がちらついたり ざらついたりする	49
本機の上/背面部が熱い	49
こんなときは	51
本機の操作ができなくなったときは	51
工場出荷時の設定に戻す(設定初期化)	51

仕様・用語・索引

メニュー項目の一覧	52
設置について	53
寸法図	54
おもな仕様について	58
アフターサービスについて	59
お客様ご相談窓口のご案内	60
本機で使用している特許など	61
索引	63

Switching the Display Language to English	
メニューなどの言語を英語にする	65

安全上のご注意

本機をお使いになる前に必ず読み、正しく安全にお使いください。

免責事項

お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
(図記号の一例です)



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告



指示

設置は、必ず専門の工事業者に依頼する

- ・ 設置には、特別な技術が必要です。お客様自身による設置は行わないでください。
- ・ 設置に不備があると、転倒や落下により、けがの原因となります。設置不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。



指示

振動が少なく、本機の質量に耐える場所に設置する

- ・ 壁に取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に絶える場所に取り付けてください。
- ・ 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

不安定な場所に設置しない

- ・ 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。



禁止

異物を入れない

- ・ 通風孔（裏ぶたのすき間）などからもの（可燃性・導電性のものを含む）を入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



ほこりを取る

電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

- ・ そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



100ボルト以外禁止

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

- ・ 火災・感電の原因となります。

警告



電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

- ・電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。



指示

本機を使用する際は、設置場所に確実に固定されていることを確認する

- ・固定されていない場合は、転倒や落下によりけがの原因となります。



分解禁止

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

- ・内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。



水ぬれ禁止

本機の上に花瓶等、水の入った容器を置かない

- ・水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

台所や屋外など、液晶モニターに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

- ・火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



禁止

電源コードや*ACアダプターに重いものを載せない

- ・火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

本機や*ACアダプターを風呂やシャワー室のような湿気の多いところで使用しない

- ・火災・感電の原因となります。



電源プラグを抜く

落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



電源プラグを抜く

煙やにおい、音などの異常が発生したら、電源プラグを抜く

- ・異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。
- ・お客様自身による修理は絶対におやめください。



電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったときは、電源プラグを抜く

- ・そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



接触禁止

雷が鳴り出したら、プラグや*ACアダプターに触れない

- ・感電の原因となります。



禁止

使用中に本機や*ACアダプターを布や布団などで覆ったり包んだりしない

- ・熱がこもって、火災の原因になります。



禁止

異常に温度が高くなる場所には置かない

- ・特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
- ・また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



指示

本機を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する

- ・長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となります。特に肌の弱い方はご注意ください。



禁止

*ACアダプターのコードが傷んだら使用しない

- ・感電、発熱、火災の原因となります。



指示

*ACアダプターをコンセントに差し込むときは、金属類に触れさせないように注意し、確実に差し込む

- ・感電、ショート、火災の原因となります。



禁止

航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや、制御などを目的とした使用はできません。

⚠️ 注意



電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

・発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。



電源プラグは確実に差し込む

確実に
差し込む

・電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。
・また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



ぬれ手
禁止

ぬれた手で*ACアダプターのコード、コンセントに触れたり、電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因となります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

・電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

タコ足配線をしない

・火災・感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードや*ACアダプターを熱器具に近づけない

・電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところ、発熱機器の近くに置かない

・調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

・通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

・倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。



禁止

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

・液晶画面のパネルが割れることがあります。



注意

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く

内部の掃除は販売店に依頼する

・内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。



電源プラグ
を抜く

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

・感電や火災の原因となることがあります。



接続線
はずす

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

・接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

※ AC アダプターは、LB-T401/LB-T461 用です。

⚠️ 注意

健康のために、次のことをお守りください



- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
- この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診察を受けてください。
- ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおられます。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

乾電池についての安全上のご注意

- 液もれ・破裂・発熱によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



禁止

乾電池の液がもれたときは素手でさわらない

- 乾電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師と相談してください。



禁止

乾電池は幼児の手の届く所に置かない

- 乾電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。



禁止

乾電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない

- 乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけないでください。発熱事故の原因となることがあります。



表示どおり
に入れる

乾電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入

- 間違えると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



禁止

指定以外の乾電池を使わない。新しい乾電池と古い乾電池または種類の違う乾電池を混ぜて使わない

- 乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



指示

乾電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、乾電池を取り出す

- 乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保存のしかた

- ⊕、⊖の方向をそろえて、低温で乾燥した涼しい場所及び湿気の少ない風通しのよい場所に保存してください。

廃棄のしかた

- ⊕と⊖をセロハンテープで絶縁して廃棄します。各自治体によって「ゴミの捨てかた」が違います。地域の条例に従ってください。

使用上のご注意

守っていただきたいこと

キャビネットのお手入れのしかた



- 汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽く拭きとってください。ベンジン、シンナーなどで拭いたり、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）を使うと、本体キャビネットの成分が変質したり、塗料がはげたり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿、ネル等）をよく絞って拭きとり、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間で使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。



電源プラグ
を抜く

- 長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

静止画を長時間表示しないでください

- 残像の原因となることがあります。

損害について

- お客さま、または第三者使用によるこの製品の誤った使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、この製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず本体の電源を「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。（⇒ 18、19 ページ）
- ディスプレイパネルの表面は、柔らかい布（綿、ネル等）で軽く乾拭きしてください。ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾（シートタイプのウエット・ドライのものも含め）などを使わないでください。ディスプレイパネルの表面がはく離することがあります。
- 硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきます。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布（綿、ネル等）を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。（強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付きます。）
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

本機の設置について

- 縦設置で使用するときには、横設置のディスプレイを前面から見て、左に90度回転して設置してください。
- 縦掛け設置用ラベルをお使いください。縦掛け設置用ラベル（SHARP ロゴ無し）をSHARP ロゴの上に貼ってください。縦掛け設置用ラベル（SHARP ロゴ有り）は任意の場所に貼ってください。
- 本機を設置するときには、水平面に対し垂直に設置してください。傾ける場合は、上向き / 下向き 20° までにしてください。
- 熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保してください。詳しくは「設置について」（⇒ 53 ページ）をご覧ください。

守っていただきたいこと

※ AC アダプター本体に強い衝撃を与えないでください。また、コネクタを変形させないでください

- ・ 故障の原因となります。

接続するケーブル等のコネクタがうまく差し込めないときは、コネクタの向きを確認してから差し込んでください

- ・ 無理に差し込むと、故障・破損の原因となります。

使用が制限されている場所

- ・ 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となるおそれがあります。

国外では使用できません

- ・ この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。(This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

電磁波妨害に注意してください

- ・ 本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

使用温度について



注意

- ・ 周囲温度は 0℃～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合

- ・ ご使用になる部屋（場所）の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- ・ 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度：0℃～40℃)

連続稼働時間と保証について

- ・ 当製品は、1日15時間以内での使用時間を前提に設計されています。1日15時間を超える連続稼働使用は保証対象外となります。

結露（つゆつき）について

- ・ 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。
- ・ 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。



注意

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

- ・ 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

雨天・降雪中でのご使用の場合

- ・ 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

直射日光・熱気は避けてください

- ・ 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- ・ 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

接続について

- ・ EMC 規制に適合させるために、下記の端子に接続するケーブルは、シールドされたものを使用してください。
 - ・ HDMI IN 端子
 - ・ D-sub/AUDIO IN 端子

フロアスタンドに取り付けているときは

- ・ 移動させる場合は、ディスプレイ部に負荷をかけないように、スタンド部を持って移動させてください。

マルチ設置時の色について

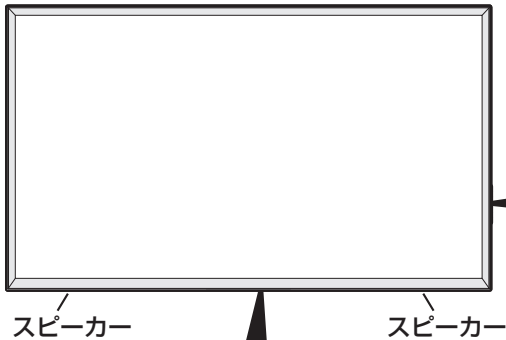
- ・ 本機はマルチディスプレイのような、近接した設置での使用を想定した色味合わせをしておりません。

※ AC アダプターは、LB-T401/LB-T461 用です。

本体各部やリモコンボタンのなまえ

LB-T601

前面



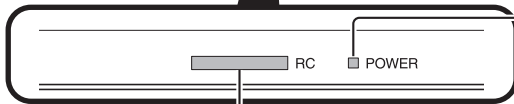
右側面



操作部のボタン

- ・ POWERボタン
⇒19ページ
- ・ MENUボタン
⇒30ページ
- ・ INPUT/ENTERボタン
⇒20、30ページ
- ・ メニューを操作するときは、決定ボタンとして使います。
- ・ 音量ボタン(+ VOL -)
- ・ 選択ボタン

底面



POWER(電源)ランプ

- ・ 緑色点灯：動作状態
- ・ 橙色点灯：パワーマネージメントモード時
- ・ 赤色点灯：待機状態
- ・ 消 灯：電源LED設定「常に点灯」以外に設定時
- ・ 電源ランプについて詳しくは「電源 LED 設定」
41 ページをご覧ください。
- ・ シャープ製インフォメーションディスプレイ
などとは、ランプの色が異なります。

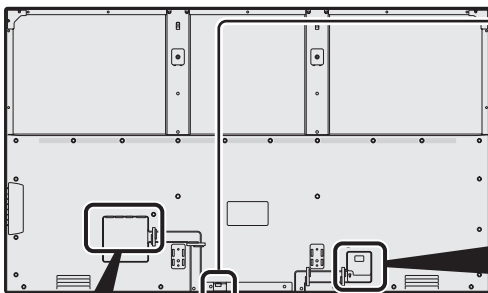
リモコン受光部

⇒14ページ

明るさセンサー受光部

⇒34ページ

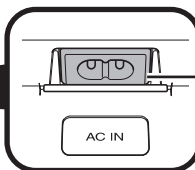
背面



ヘッドホン端子

- ・ ストレート型ステレオミニプラグ(φ3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ・ ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音が出せます。(⇒38 ページ)

電源コードをつなぐ



AC IN
(電源コード接続部)
⇒18 ページ

D-sub/AUDIO IN 端子

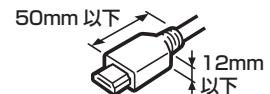
⇒17 ページ

HDMI 対応のレコーダー・
パソコンなどをつなぐ

HDMI IN 端子*1

⇒15、16、17 ページ

*1 本機に接続する HDMI
ケーブルは、接続部分の
サイズが下記のもの
をご使用ください。



LAN 端子 (10BASE-T/100BASE-TX)

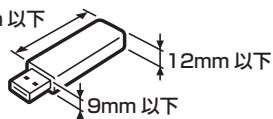
⇒46 ページ

USB 端子*2

⇒27 ページ

USB メモリーなどをつなぐ

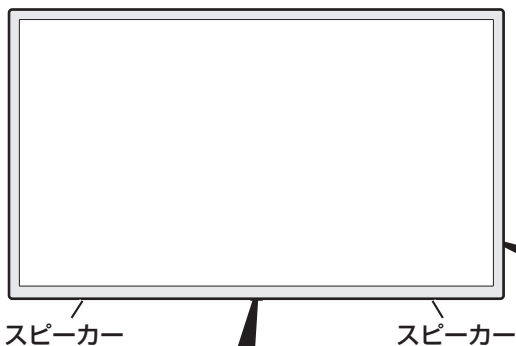
*2 本機に接続する USB
メモリーは、接続部分
のサイズが右記のもの
をご使用ください。



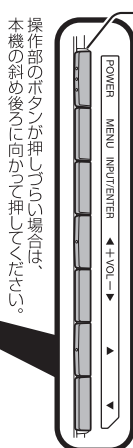
・このページの本体イラストは LB-T401 を例に説明しています。LB-T461 もボタンや端子などの配置は同じです。

LB-T461/LB-T401

前面



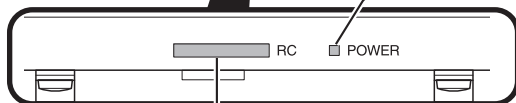
右側面



操作部のボタン

- ・POWERボタン
⇒19ページ
- ・MENUボタン
⇒30ページ
- ・INPUT / ENTERボタン
⇒20、30ページ
・メニューを操作するときは、
決定ボタンとして使います。
- ・音量ボタン(+ VOL -)
- ・選択ボタン

底面



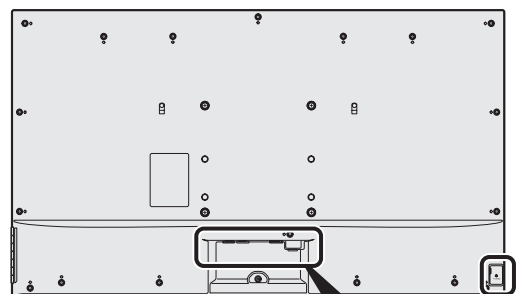
POWER(電源)ランプ

- ・緑色点灯：動作状態
- ・橙色点灯：パワーマネージメントモード時
- ・赤色点灯：待機状態
- ・消 灯：電源LED設定「常に点灯」以外に設定時
- ・電源ランプについて詳しくは「電源 LED 設定」
41 ページをご覧ください。
- ・シャープ製インフォメーションディスプレイ
などとは、ランプの色が異なります。

リモコン受光部
⇒14ページ

明るさセンサー受光部
⇒34ページ

背面



ヘッドホン端子

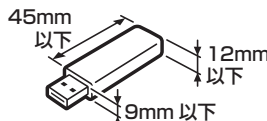
- ・ストレート型ステレオミニプラグ(φ3.5mm)の付いたヘッドホンをご用意ください。
- ・ヘッドホンをつないだときでも、スピーカーから音が出せます。(⇒38 ページ)

D-sub /
AUDIO IN 端子
⇒17 ページ

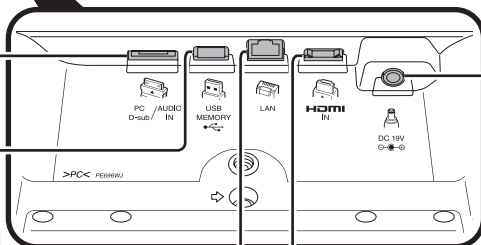
USB メモリーなどをつなぐ

USB 端子※2
⇒27 ページ

※2 本機に接続する USB メモリーは、接続部分のサイズが下記のものをご使用ください。



LAN 端子
(10BASE-T/100BASE-TX)
⇒46 ページ



AC アダプターをつなぐ

DC19V
(AC アダプター接続部)
⇒18 ページ

※1 本機に接続する HDMI ケーブルは、接続部分のサイズが下記のものをご使用ください。



HDMI 対応のレコーダー・パソコンなどをつなぐ

HDMI IN 端子※1
⇒15、16、17 ページ

リモコンのボタン

POWER ボタン

- 本機の電源を入 / 切します。

MUTE ボタン

- 音声を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

カーソル左ボタン

カーソル右ボタン

- メニューの操作時に、項目の選択に使います。

ENTER ボタン

- 各メニュー操作や文字入力 of 操作に使います。

DISPLAY/F1 ボタン

- 現在の入力を表示します。
- USB メモリーを接続しているときや、文字入力 of のときにも使います。

MODE/F2 ボタン

- AV ポジションを切り換えます。
- USB メモリーを接続しているときや、文字入力 of のときにも使います。

INPUT ボタン

- 入力を切り換えます。

MENU ボタン

- メニュー画面を表示します。

VOL+/カーソル上ボタン

VOL-/カーソル下ボタン

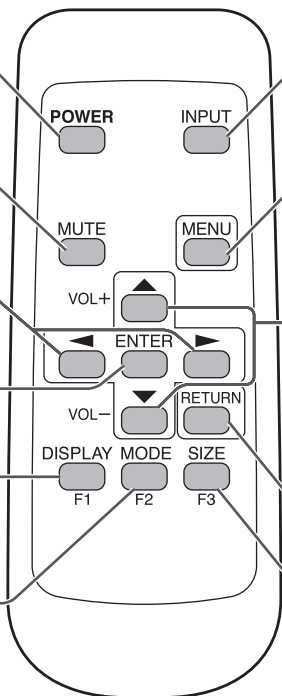
- 音量の調整をします。
- メニュー操作時は項目の選択に使います。

RETURN ボタン

- 各メニュー操作や文字入力 of の操作に使います。

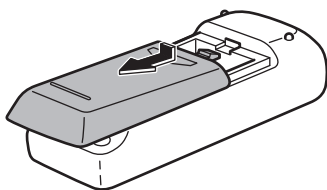
SIZE/F3 ボタン

- 画面サイズを切り換えます。
- USB メモリーを接続しているときや、文字入力 of のときにも使います。



リモコンに乾電池を入れる

1 リモコン裏側の電池カバーを取り外す



2 付属の単3形乾電池を入れる

- ⊕⊖の表示どおりに入れてください。

3 電池カバーを元どおりに取り付ける

◆おしらせ◆

乾電池を交換するときは

- 乾電池は単3形の乾電池をご使用ください。

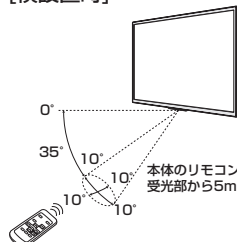
リモコンで操作できる範囲

- 本機底面のリモコン受光部に向けて操作します。

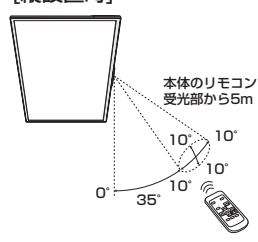
◆おしらせ◆

- リモコンで操作するときは、約 35° 以上下げ て操作してください。(操作範囲は下図参照)

[横設置時]



[縦設置時]



◆おしらせ◆

リモコン使用上のご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- リモコンを操作しても時々反応しなくなったときなどは、乾電池の寿命が考えられます。早めに新しい乾電池と交換してください。

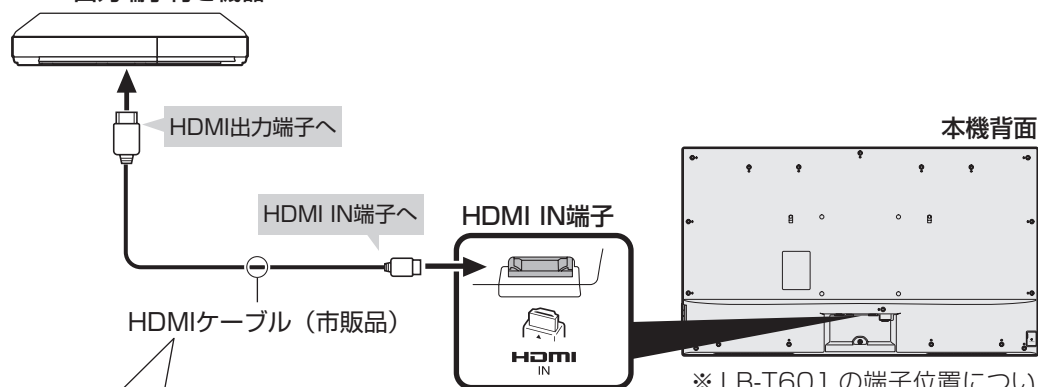
外部機器を接続する

- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

HDMI 出力端子が付いたレコーダー・プレーヤーなどを接続する

- HDMI 端子は、映像と音声の信号を 1 本の HDMI 認証ケーブル シールドタイプ（市販品）でつなぐことができる端子です。
- 本機の HDMI 入力端子は 1080p の信号入力に対応しています。1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED (カテゴリー 2) に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

HDMI出力端子付き機器



必ず市販の HDMI 規格認証品シールドタイプ (カテゴリー 2 推奨) をご使用ください。

規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生するなど、正常に動作しない場合があります。

※ LB-T601 の端子位置については、12 ページをご覧ください。

対応している映像信号


- 1080p (24Hz/30Hz/60Hz)、720p (30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA

対応している音声信号

- 種類：リニア PCM
サンプリング周波数：48kHz / 44.1kHz / 32kHz

HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

カラオケなどの反応が遅いときは

- カラオケの音声が遅れて感じられる場合やゲームのキー操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更してください。
また、メニュー画面で「 (映像調整)」- 「プロ設定」- 「QS 駆動 (120Hz)」の設定を「スタンダード」に変更してください。

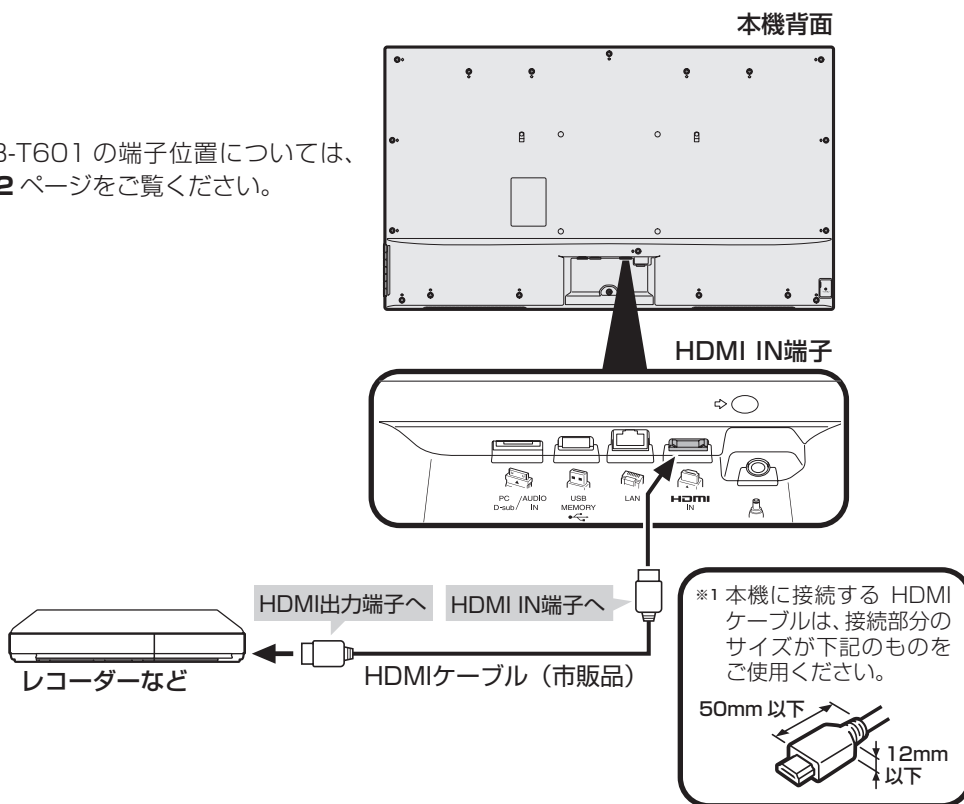
HDMI CEC 対応機器を 接続する

- HDMI ケーブルは必ず市販の HDMI 規格認証品シールドタイプ (カテゴリ 2 推奨) をご使用ください。規格外のケーブルを使用した場合、映像が映らない、音が聞こえない、映像にノイズが発生する、HDMI CEC 対応の機器が連動動作しないなど、正常な動作ができません。
- 1080p の映像信号を入力するときは、HIGH SPEED (カテゴリ 2) に対応した HDMI ケーブルをお使いください。
- 下記に示した接続方法以外で接続した場合には、正しく動作しないことがあります。

◆ 重要 ◆

- HDMI ケーブルや電源コードを抜き差ししたり、機器との接続方法を変えた場合は、すべての周辺機器の電源を入れた状態で本機の電源を入れ直し、本機の入力を HDMI 入力に切り換えて映像と音声
が正しいことを確認してください。

※ LB-T601 の端子位置については、
12 ページをご覧ください。

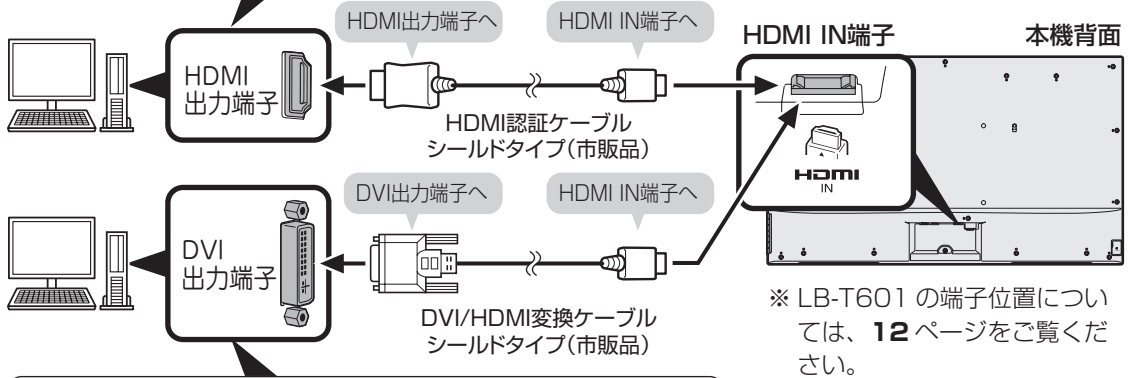


パソコンを本機の HDMI IN 端子に接続する

- HDMI ケーブルを使うときは、市販の HDMI 認証ケーブル シールドタイプをお使いください。

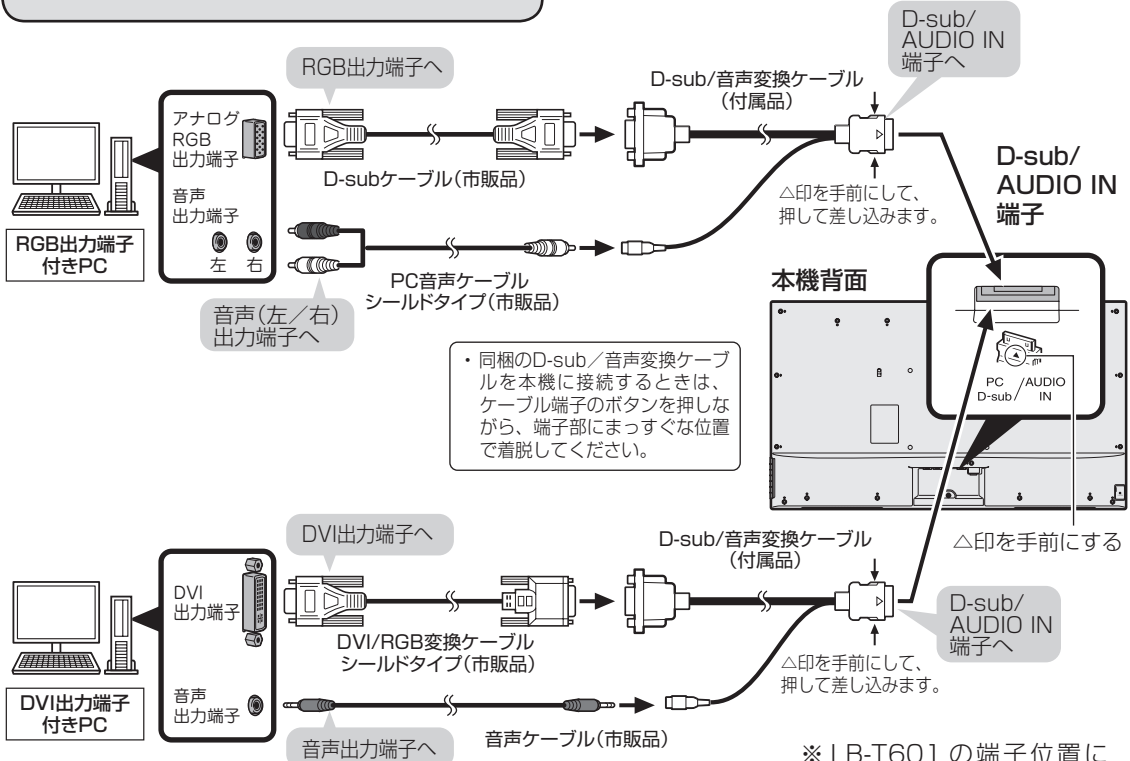
- 本機を HDMI 出力端子付きパソコンのモニターとして使う場合のつなぎかたです。

- 「入力音声選択」(26 ページ)を「HDMI のみ」に設定します。
- パソコンの HDMI 出力端子から音声が出力されない場合は、本機のスピーカーから音は出せません。



- パソコンに音声出力端子がある場合は、D-sub / 音声変換ケーブル (付属品) と音声ケーブルを使って、本機に接続してください。(下記)
- 「入力音声選択」(26 ページ)を「HDMI+ 音声入力端子」に設定します。

パソコンを本機の D-sub/AUDIO IN 端子に接続する



電源コードをつなぐ

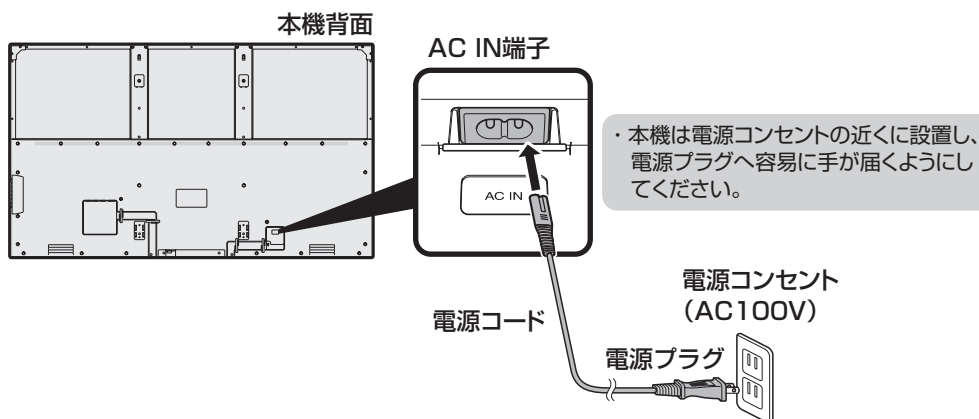


注意

接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

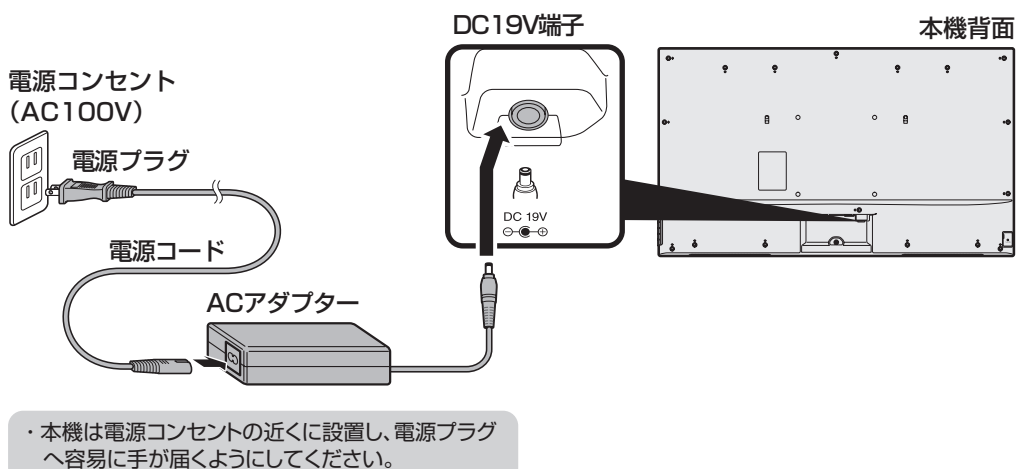
LB-T601

1 付属の電源コードを使って、本機と電源コンセントをつなぐ



LB-T461/LB-T401

1 付属のACアダプターと電源コードを使って、本機と電源コンセントをつなぐ



◆ 重要 ◆

- 電源コードのプラグは、抜けないように確実に接続してください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。
- 使用中いきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。故障の原因になります。

電源の入／切をする

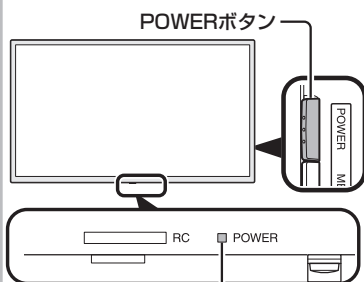
- すべての接続を終えてから、電源を入れてください。

消費電力について

- 本体のPOWERボタンで電源を切っても、電源コードを接続している場合は微少な電力が消費されています。

1 本体の側面操作部にあるPOWERボタンを押し、電源を入れる

- POWER（電源）ランプが緑色に点灯します。



POWER（電源）ランプ

- ・ 緑色点灯：動作状態
- ・ 橙色点灯：パワーマネジメントモード時
- ・ 赤色点灯：待機状態
- ・ 消灯：電源LED設定「常に点灯」以外に設定時

2 リモコンのPOWERボタンで電源を入／切する



を押す

- 本体のリモコン受光部（⇒ 14 ページ）に向けて、リモコンのPOWERボタンを押します。

電源を入れたときの画面を変える

1 メニュー画面で「色(機能切換)」-「起動設定」を選び、設定する

- メニュー画面の使いかたについては、30 ページをご覧ください。



項目	内容
通常	前回電源を切ったときの入力を表示します。
USB スライドショー	静止画を記録した USB メモリーを接続している場合、スライドショー再生を開始します。

◇ おしらせ ◇

- 「起動設定」が「USB スライドショー」に設定されているときは、パワーマネジメント機能（⇒ 22 ページ）は働きません。

USB スライドショー起動について

- 本機には、電源を入れたとき、自動的に USB スライドショーを開始させる機能があります。

準備

- USB スライドショーを自動開始させるときは、つぎの準備をします。

1 USBメモリーのルートフォルダ(最上位フォルダ)に「SW(半角英大文字)」のフォルダを作成する

2 「SW」フォルダの中に静止画データ(JPEGファイル)をコピーする

3 メニュー画面で「 (機能切替)」 - 「起動設定」- 「USBスライド ショー」を選ぶ

- ・メニュー画面の使い方については、**30** ページをご覧ください。

4 本機の電源を切り、準備した USBメモリーを接続する

5 本機の電源を入れると、 USBスライドショーが始ま ります

◇おしらせ◇

- ・本機に接続できる USB メモリーについては、**27** ページをご覧ください。
- ・スライドショー再生順を確認したいときは、「USB メモリーの静止画を表示する」(⇒ **27** ~ **28** ページ) の操作を行ってください。
- ・手順**4**では、USB メモリーを1つだけ接続してください。
- ・USB スライドショー実行中に、リモコンの「F1」ボタンを押すことで、画面下部にガイドダンスを表示できます。スライドショー実行中の表示については、**29** ページをご覧ください。
- ・USB メモリーが接続されていないときは USB メディアのトップ画面が表示されますので、スライドショー再生する USB メモリーを接続してください。
- ・USB メモリーが接続されていない状態で INPUT ボタンを押したときは、USB メディアは選べません。
- ・USB メモリーのルートフォルダに「SW」という名前のフォルダがない場合や、「SW」フォルダに静止画データ (JPEG ファイル) がない場合も USB メディアのトップ画面を表示します。
- ・正しい手順で準備した USB メモリーを接続していても USB スライドショーが始まらない場合は、USB メモリーが正常に認識されていないことなどが考えられます。一度、本機の電源を切ってから再度、電源を入れ直してください。
- ・「パワーマネージメントオフ」(⇒ **22** ページ) を「する」に設定しているとき、「起動設定」- 「USB スライドショー」は選択できません。

1 接続した機器の電源を入れる

2 INPUTボタンを繰り返し押し、 入力を切り換える



- ・押すたびに以下のように切り換わります。

→ RGB → HDMI → USB メディア※

※ USB メモリーが接続されていないときは選べません。

3 接続した機器を操作する

- ・再生映像が表示されます。
- ・外部機器によっては、映像を出力するために設定が必要になる場合もあります。設定のしかたについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

◇おしらせ◇

HDMI 端子につないで見られる映像の種類

- ・1080p (24Hz/30Hz/60Hz)、720p (30Hz/60Hz)、1080i、480p、480i、VGA
- ・対応している音声信号は以下の通りです。
種類：リニア PCM
サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz

入力切換の表示をお好みのなまえ に変えるには

- ・画面に表示される機器の名称を変更できます。

1 メニュー画面で「 (機能切替)」 - 「外部端子設定」- 「入力表示」 を選び、表示させたい名称を選ぶ



- ・メニュー画面の使い方については、**30** ページをご覧ください。
- ・お好みで機器の名称を入力したいときは、「編集」を選んで決定します。(文字を入力する⇒ **43** ページ)

パソコンのモニターとして使う

- 本機にパソコンをつなぐ場合は、パソコン（PC）の出力の解像度を確認してください。パソコンが **25** ページに記載の解像度に対応していない場合は、本機でパソコンの画面を表示できません。

PC 入力の画面サイズを切り換える

1 リモコンのSIZEボタンを押す



を押す

2 画面サイズ切換メニューからお好みの画面サイズを選ぶ



で選び

ENTER

を押す

◇おしらせ◇

- 接続するパソコンによっては、本機で対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。
- 本機で対応していない信号が入力されたときは、「この入力信号には対応しておりません。」と表示されます。その場合、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧くださいになり、本機で対応している信号に設定してください。
- PC 入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。
- 特定の入力信号時、特定の条件下で画面の文字などににじみが出る場合があります。

本機で選べる画面サイズ（パソコンからの入力信号により、選べる画面サイズが異なる場合があります。）

入力信号	ノーマル	シネマ	フル	Dot by Dot
16:9よりも縦長の映像 640×480、800×600 1024×768 1280×1024など	 入力信号の縦横比をくずさずに、図のように映します。	 入力信号の縦横比をくずさずに、画面の左右いっぱいまで拡大して映します。映像の上下が切れます。	 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度とおりのパネル画素数で映します。
16:9映像 			 画面いっぱいに映します。	 入力信号の解像度とおりのパネル画素数で映します。

D-subケーブルを使用し、 パソコンをつないでいる ときの省エネを設定する (パワーマネージメント)

- パソコン (PC) の画面が消えたときに自動的に本機の電源も切れるように設定できます。(パワーマネージメント)
- 「パワーマネージメント」は、入力切換 (⇒ **20** ページ) で「RGB」を選択しているときに選べます。
- HDMI ケーブルを使用してパソコンを接続しているときは「パワーマネージメント」機能は動きません。

項目	内容
しない	• パワーマネージメントを行いません。
する	• PC (パソコン) の画面が消えると、8 秒後に自動的に電源が切れる機能です。PC の映像信号が入力されると電源が入りません。

1

「RGB」を選ぶ

- 入力切換のしかたについては、**20** ページをご覧ください。



を押す

2

メニューを表示する

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。



を押す

3

「 (省エネ) – 「パワーマネージメントオフ」を選ぶ



で選び



を押す

4

「する」を選ぶ

- 操作を終了する場合は、MENU ボタンを押します。



で選び



を押す

- パワーマネージメントオフを「する」に設定している場合、パワーマネージメントオフ状態になると、本体底面の電源ランプが橙色に点灯します。
- 電源ランプの点灯状態について詳しくは「電源 LED 設定」(**41** ページ) をご覧ください。

◇ おしらせ ◇

- パワーマネージメントオフを「する」に設定しているとき、コンセントを抜くなどして本機の電源をしゃ断すると、電源を入れなおしても正常に動作しない場合があります。このときは、リモコンの POWER ボタンを押してください。
- パワーマネージメント機能は、「起動設定」(**19** ページ) を「通常」に設定しているときに働く機能です。

アナログ接続したパソコンの画面を調整する

自動で画面を調整する

- D-sub/AUDIO IN 端子にパソコン (PC) を接続している場合に、最良に近い画面に自動的に調整されます。クロック周波数、クロック位相などが調整されます。

1

MENU
を押す

で選び
ENTER
を押す

メニュー画面で「機能切換」 -「外部端子設定」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。



2

で選び
ENTER
を押す

「パソコン入力」を選び、決定する

3

で選び
ENTER
を押す

「自動同期調整」を選ぶ

4

で選び
ENTER
を押す

「する」を選ぶ

自動同期調整
する しない

- 「自動同期調整中」と表示されます。
- 自動調整が終了すると、「映像を調整しました。」と表示されます。
- 正常に終了しないと、何も表示されずメニューに戻ります。
- 操作を終了する場合は、MENU ボタンを押します。

◇おしらせ◇

- お使いのパソコンによっては、外部出力を有効にしないと映像が表示されない場合があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

自動調整で最適な画面にならないときは、
手で画面を調整してください。

- 動きのある映像や色のメリハリの少ない映像などの映像信号や PC によっては、自動調整で最適な画面にならないことがあります。手で画面を調整してください。(⇒ **24** ページ)

はじめに
お読みください

接続

基本の使いかた

調整/
その他の設定

パソコンで
制御する

故障かな？

お役立ち情報
(仕様や索引)

English
Guide

手動で画面を調整する

- 以下の項目が調整できます。(調整範囲は入力、信号、画面サイズにより変わります。)

項目	内容
水平位置	・画像が右寄り、または左寄りの状態にあるときに調整します。
垂直位置	・画像が上がり過ぎ、または下がり過ぎの状態にあるときに調整します。
クロック周波数	・縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	・文字などを表示したときに、映像のチラツキが出たり、コントラストがつかないときに調整します。
リセット	・工場出荷時の設定に戻します。

(例) 画面の垂直位置を調整する

1

MENU
を押す
で選び
ENTER
を押す

メニュー画面で「 (機能切換)」
- 「外部端子設定」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、30 ページをご覧ください。



2

で選び
ENTER
を押す

「パソコン入力」を選び、決定する

3

で選び
ENTER
を押す

「画面調整」を選び、決定する

4

で選び
ENTER
を押す

「垂直位置」を選ぶ

5

で選び
ENTER
を押す

適切な位置に調整する

- 操作を終了する場合は、MENU ボタンを押します。



アナログ接続したパソコンの画面が正しく映らないときは（入力解像度の設定）

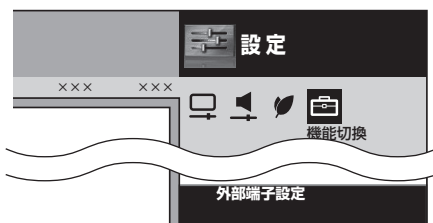
- アナログ接続の場合は、一部の入力解像度（768ライン）において自動判別できない信号があるため、手動での入力解像度の選択設定が必要な場合があります。
- パソコン（PC）の解像度が「1024×768」または「1360×768」の場合に必要な設定です。

1

MENU
を押す
で選び
ENTER
を押す

メニュー画面で「（機能切替）」 -「外部端子設定」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、30ページをご覧ください。



2

で選び
ENTER
を押す

「パソコン入力」を選び、決定する

3

で選び
ENTER
を押す

「入力解像度」を選び、決定する

4

で選び
ENTER
を押す

入力解像度を選ぶ



- 「自動」に設定しているときは、自動的に「1024×768」と「1360×768」の解像度を判別します。
- 垂直ライン数（非表示期間を含む）が特殊な一部の信号の場合は、解像度を正しく判別できないことがあります。
- 映像表示させた状態で正しい解像度を設定してください。設定後に映像表示させると、位置が大ききずれてしまうことがあります。この場合は、一度他の設定を選んだ後、再度正しい設定を選んでみてください。
- 操作を終了する場合は、MENU ボタンを押します。

PC 入力対応表 (RGB/HDMI(PC) 入力時)

解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA 規格
VGA	720 × 400	31.5	70	
	640 × 480	31.5	60	○
		37.9	72	○
		37.5	75	○
SVGA	800 × 600	35.1	56	○
		37.9	60	○
		48.1	72	○
		46.9	75	○
XGA	1024 × 768	48.4	60	○
		56.5	70	○
		60.0	75	○
WXGA	1280 × 800	49.7	60	○
	1360 × 768	47.7	60	○
SXGA	1280 × 1024	64.0	60	○
		80.0	75	○
WXGA+	1440 × 900	55.9	60	○
SXGA+	1400 × 1050	65.3	60	○
480p	720 × 480	31.5	60	
		45.0	60	
		67.5	60	
720p	1280 × 720	45.0	60	
1080p	1920 × 1080	67.5	60	

パソコンの音声入力端子を設定する（入力音声選択）

- HDMI IN 端子にパソコンを接続してアナログ音声入力端子を使用する場合の設定です。

1

メニュー画面で「機能切換」 -「外部端子設定」を選ぶ

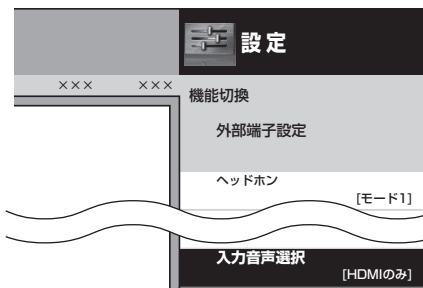
- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

で選び
ENTER
を押す



2

「入力音声選択」を選ぶ



で選び
ENTER
を押す

3

現在視聴している機器との 接続方法を選ぶ

音声がかえることを確認してください。



で選び
ENTER
を押す

「入力音声選択」の設定項目 (HDMI IN 端子に切り換えた場合)

項目	内容
HDMI のみ	• HDMI ケーブルを使って HDMI IN 端子に接続し、HDMI から音声が入力される場合に選びます。
HDMI+ 音声入力端子	• HDMI ケーブルまたは DVI/HDMI 変換ケーブルを使って HDMI IN 端子に接続し、ミニプラグからアナログ音声を入力する場合に選びます。

- 操作を終了する場合は、MENU ボタンを押します。

◇ おしらせ ◇

- 「入力音声選択」で「HDMI + 音声入力端子」を選択した場合は、通常の HDMI 対応機器をアナログ音声を接続せずに HDMI ケーブルで接続しても音は出ません。（アナログ音声用の接続が必要です）
通常の HDMI 対応機器を HDMI ケーブルのみで接続する場合は「入力音声選択」を「HDMI のみ」に戻してください。

USB メモリーの静止画を表示する

- USB メモリーに保存された静止画を表示させることができます。

本機で使える USB メモリーとデータ形式について

USB メモリー機器	USB メモリー
ファイルシステム	FAT、FAT32
静止画ファイル形式	JPEG(.jpg)(DCF2.0 準拠)
USB 機器の接続部は、右記のものを使用してください。	LB-T401/LB-T461 : 45mm 以下 LB-T601 : 100mm 以下



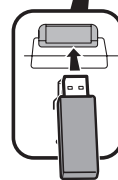
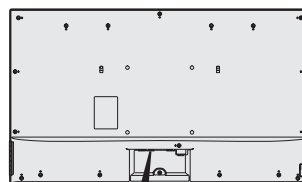
◇おしらせ◇

- 1,920 × 1,080 より小さい解像度の静止画ファイルは、拡大表示されません。フル画面で表示させる場合は、1,920 × 1,080 のコンテンツを準備してください。
- 本機を縦に設置しているとき、縦の静止画ファイルが横向きに表示される場合があります。このような場合は、パソコンの画像処理ソフトなどで、静止画ファイルの EXIF 情報（回転情報）を回転しない設定に変更してください。
- USB メモリー機器によっては、記録されたデータを本機で認識できないことがあります。
- 80 文字を超えるファイル名、半角カタカナのファイル名は表示されません。
- ファイル転送中、スライドショー中、画面切り換え中、または入力切換メニューの「USB メディア」を終了する前に、USB メモリーやメモリーカードを本機から取り外さないでください。
- USB メモリーの抜き差しを繰り返さないでください。
- USB メモリーは、本体の電源を切ってから取り外してください。
- プログレッシブ形式の jpeg ファイルはサポートされていません。
- USB1.1 の装置に入っているファイルは、正しく再生されないことがあります。
- USB ハブをご使用になるときは、必ず USB ハブに電源コードを接続してください。
- USB 機能を利用中は、画面サイズの切り換え（⇒ 31 ページ）ができません。
- USB 端子の最大供給電力は、2.5W (5V、0.5A) です。

1 静止画が記録されたUSBメモリーを、本機のUSB端子に接続する

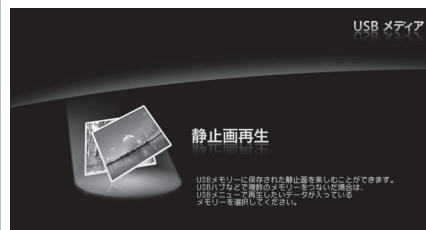
- 設置場所により USB メモリーの取り外しが困難な場合は、市販の USB 延長ケーブルをご使用ください。

本機背面



※ LB-T601 の端子位置については、12 ページをご覧ください。

- USB メディア画面が表示されます。
- USB メディア画面の例



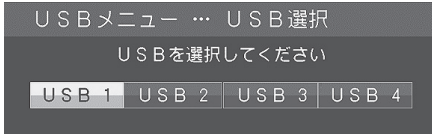
2

USBメディア画面が表示されていることを確認する

3

再生したいデータが入っているメモリーカードを選ぶ

- 最大 16 個の USB が表示されます。



F2
を押す

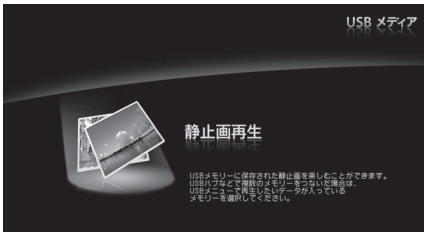


で選び
ENTER
を押す

4

静止画再生を選ぶ

USB メディア画面の例



ENTER
を押す

5

再生したいデータが入っているフォルダを選ぶ



で選び
ENTER
を押す

6

再生したい静止画を選ぶ

- 静止画の操作については⇒**右記**をご覧ください。



で選び
ENTER
を押す

サムネイル（静止画一覧画面）の例








サムネイル表示中の操作について

ボタン	説明
ENTER 	<ul style="list-style-type: none"> 選んだ静止画を表示します。 「個別の静止画を表示中の操作について」(⇒ 29 ページ) をご覧ください。
	<ul style="list-style-type: none"> 静止画や、希望の項目を選びます。
RETURN 	<ul style="list-style-type: none"> 一つ前の手順に戻ります。
F1 	<ul style="list-style-type: none"> スライドショーを開始します。 「スライドショー表示中の操作について」(⇒ 29 ページ) をご覧ください。
F2 	<ul style="list-style-type: none"> USB メニュー画面を表示します。 「スライドショーの設定をする」(⇒ 29 ページ) をご覧ください。
F3 	<ul style="list-style-type: none"> スライドショー再生を行う画像の選択／選択解除を行います。現在選択されている画像に対してのみ有効です。

◇おしらせ◇

- 無効な静止画ファイルがあると、そのファイルに対して×マークが表示されます。
- 画面の左下に、ファイル名、撮影データ*、ピクセルサイズ、ファイルサイズが表示されます。
*EXIF ファイル形式の静止画のみ、撮影データを表示できます。

個別の静止画を表示中の操作について




ボタン	説明
	• 同じフォルダ内の前の静止画に戻ったり、次の静止画に進んだりします。
RETURN 	• サムネイル選択画面に戻ります。
F1 	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
F2 	• 静止画を左に 90° 回転します。
F3 	• 静止画を右に 90° 回転します。

◇おしらせ◇

- 静止画の回転は一時的に選択された項目に対して適用されるだけであり、設定内容は保存されません。

スライドショー表示中の操作について


- サムネイル選択画面に表示される静止画は、スライドショーとして表示されます。

ボタン	説明
RETURN 	• サムネイル選択画面に戻ります。
F1 	• ガイダンスの表示／非表示を切り換えます。
F2 	• USB メニュー画面を表示します。

◇おしらせ◇

- スライドショーは、を押すまで続きます。

スライドショーの設定をする

- サムネイル表示中に、 ボタンを押す
 - USB メニュー画面が表示されます。
- 項目を選び、設定する

USBメニュー	
スライドショー間隔	[約 10 秒]
スライドショー効果	[しない]
スライドショー全選択	
スライドショー全解除	
選択 ENTER 決定	F2 : 終了

設定のための項目

項目	内容
スライドショー間隔	<ul style="list-style-type: none"> • 次の静止画に切り換わる時間を変えられます。「約 5 秒」「約 10 秒」「約 30 秒」「約 60 秒」から選びます。 • 設定後に「F1」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー効果	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画が切り換わるときに動きの効果を付けられます。「しない」「フェード」「ブラインド」「チェッカー」「ワイプ」から選びます。 • 設定後に「F1」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー全選択	<ul style="list-style-type: none"> • 表示される静止画を設定します。フォルダ内のすべての静止画にチェックマークが付きます。 • 設定後に「F1」ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。
スライドショー全解除	<ul style="list-style-type: none"> • 静止画の選択を解除します。フォルダ内のすべての静止画からチェックマークが外れます。

メニュー画面の使いかた

- ここでは、メニュー画面の見かたや使いかたについて説明します。

メニューの画面例

ガイド表示

- 選択した項目のガイダンスが表示されます。
- 選択した項目により表示内容が変わります。
- この位置、もしくは画面下に表示されます。

機能選択メニュー項目

- アイコンを選びます。
- 選んだ機能選択メニュー名が表示されます。



機能別選択・設定項目

- 項目によって、表示や操作のしかたは異なります。それぞれのページをご覧ください。

1

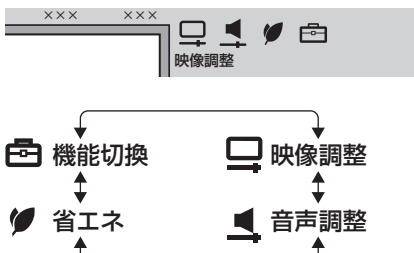
MENU
を押す

メニュー画面を表示する

2

で選ぶ

機能選択メニューを選ぶ



3

で選ぶ
ENTER
を押す

機能別選択・設定項目を選ぶ

- 項目は、状況によって異なります。

▼「映像調整」の機能別項目例

A V ポジション(画質切換)	
	[標準]
明るさセンサー(OPC)	
	[入]
明るさ	[0] -16 [] +16
映像	[20] 0 [] +40
黒レベル	[0] -30 [] +30
色の濃さ	[0] -30 [] +30
色あい	[0] -30 [] +30

4

で選ぶ
ENTER
を押す

ガイド表示に従って、操作を進める

- 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ操作が続くこともあります。
- 項目により、操作のしかたが異なります。ガイド表示をご覧ください。

▼ガイド表示の例

◀ 項目選択 (ENTER) 実行 (RETURN) 前画面 (MENU) 終了

▼設定画面の例

明るさセンサー (OPC)	
部屋の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを設定します。	
切	
入	
入：表示あり	

画面のサイズを調整する

映像の左右に黒帯が出たり上下幅が変わるときは

- 映像によっては、画面の両側や上下に黒帯が出る場合があります。画面サイズ切替メニューで、映像の左右幅や上下幅を変えて黒帯を消すことができます。

1

リモコンのSIZEボタンを押す



を押す

2

画面サイズ切替メニューからお好みの画面サイズを選ぶ



で選び

ENTER

を押す

- 480i / 480p 映像の場合（ビデオ放送など）と、1080i 映像の場合と、1080p / 720p 映像の場合で、選べる画面サイズは変わります。

◆ 重要 ◆

- 元の映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。
- 4 : 3 の映像を画面サイズ切替機能を利用して画面いっぱいに表示すると、画像周辺部分が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像をご覧になるときは、画面サイズを「ノーマル」にしてください。
- 画面サイズ変更前の映像信号の縦横比によっては、「シネマ」に切り換わっても画面の上下に黒い帯が残る場合があります。
- 市販ソフトによっては、字幕など画像の一部が欠けることがあります。このようなときは、画面サイズ切替機能で最適なサイズに切り換えてください。このとき、ソフトによっては画面の端や上部にノイズや曲がりが生じることがありますが、故障ではありません。
- 画面サイズを切り換えるときに画面が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
- USB メディア再生時、画面サイズは変更できません。

画面サイズ切替の設定項目 映像の種類によって、選べる画面サイズは異なります。

項目	内容
ノーマル	<ul style="list-style-type: none"> 4 : 3 サイズの映像をそのまま映します。
シネマ	<ul style="list-style-type: none"> シネスコまたは 16 : 9 サイズの映画ソフトを画面いっぱいに映します。
フル	<ul style="list-style-type: none"> 16 : 9 から 4 : 3 に圧縮された映像を元の 16 : 9 に戻して画面いっぱいに映します。
Dot by Dot アンダースキャン	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号ごおりの映像で映します。

画質を調整する

AV ポジションを切り換える

1

リモコンのMODEボタンを繰り返し押しして、AVポジションを選ぶ



◇おしらせ◇

- AV ポジションは入力ごとに選べます。
- 入力ごとに個別に調整したいときは、「AV メモリー」で設定してください。
- 入力によっては選択できない AV ポジションがあります。
- AV ポジションの「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「スライドショー」「ダイナミック」は、映像調整(⇒33 ページ)を行うと、行った調整が反映されたまま記憶されます。
- 入力切換を行っても、「標準」「映画」「ゲーム」「PC」「スライドショー」「ダイナミック」は、それぞれ記憶された設定で調整されます。
- AV ポジションを切り換えるとき、一時的に映像・音声途切れることがあります。

AV ポジションの設定項目

項目	内容
標準	• 映像や音声の設定がすべて標準値になります。
映画	• コントラストを抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
ゲーム	• ゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。 • すばやい反応を要求されるゲームやカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、このモードでお使いください。また、「QS 駆動(120Hz)」(⇒35 ページ)を「スタンダード」に変更してください。
PC*	• PC 用の画面モードです。
AV メモリー	• 入力ごとにお好みの調整内容を記憶できます。
スライドショー	• 静止画を見やすくします。
ダイナミック	• くっきりと色鮮やかな映像にします。
ダイナミック(固定)	• くっきりと色鮮やかな映像で、迫力ある映像にします。「ダイナミック」に比べ、より鮮明な感じの画質になります。 • この設定のときは、映像調整や音声調整ができません。

- ※ 「USB メディア」入力選択時は、表示されません。
- 「USB メディア」入力選択時は、MODE ボタンによる切り換えはできません。AV ポジションを設定したいときはメニュー画面で設定してください。

画面の明るさや色を変える (映像調整)

- 映像をより見やすくするために、明るさや色などを調整できます。プロ設定では、より細かな映像調整ができます。
- 映像調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます(「ダイナミック(固定)」以外)。先にAVポジション(⇒32ページ)を選んでから映像調整してください。

1 映像調整をしたい AVポジションを選ぶ

AVポジションの選びかた

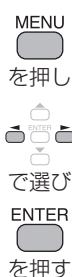
- ⇒32ページ
- 手順2の画面で「AVポジション(画質切替)」を選び、設定することもできます。

AVポジションによる違いについて

- 「ダイナミック(固定)」では、調整できません。
- 「AVメモリー」は、入力ごとの調整となります。その他のAVポジションで映像調整を行うと、すべての入力でその結果が有効になります。

2 メニュー画面で 「映像調整」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、30ページをご覧ください。



3 調整したい項目を選ぶ

- 工場出荷時の設定に戻りたいときは
- 「リセット」を選び、決定します。
 - ▲▼ボタンで「する」を選び、決定します。



4 ◆「明るさセンサー(OPC)」 「プロ設定」以外を 設定する場合

- ① ◀▶ ボタンでお好みの設定にする
- ② 操作を終了する場合は MENU ボタンを押す



◆「明るさセンサー(OPC)」 「プロ設定」を設定する場合

- 画面に従って操作します。



映像調整の項目一覧⇒ 34 ページ

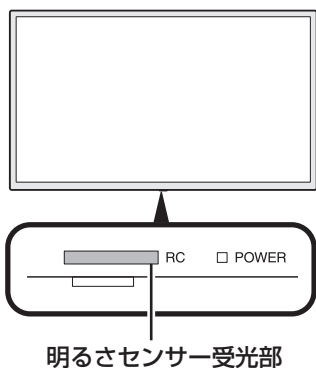
プロ設定の項目一覧⇒ 35 ページ

「映像調整」の設定項目

項目	内容
AV ポジション (画質切換)	・ 映画やゲームなどに適した映像・音声に切り換えます。(⇒ 32 ページ)
明るさセンサー (OPC)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機を置いている室内の照明状況など周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に調整するかを、「入：表示あり」「入」「切」で設定します。 ・ 暗い部屋でご覧になるときに余分な消費電力を削減します。(明るい部屋では「切」のときよりも消費電力が増加する場合があります。) <p>明るさセンサーの感度(動作する範囲)を手動で調整したい場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「プロ設定」の「明るさセンサー(OPC)設定」(⇒ 35 ページ)で設定します。
明るさ	・ 画面をお好みの明るさに手動で調整します。(調整すると、上の項目の「明るさセンサー(OPC)」は「切」になります。)
映像	・ 映像の強弱を調整します。
黒レベル	・ 画面を見やすい明るさに調整します。
色の濃さ	・ 映像の色の濃さを調整します。
色あい	・ 色を調整します。
画質	・ 画面をお好みの画質に調整します。
プロ設定	・ 映像をさらにきめ細かく調整します。(⇒ 35 ページ)
リセット	・ 映像調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。

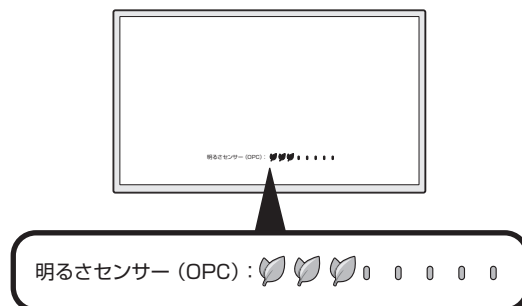
明るさセンサーについて

- ・ 明るさセンサー受光部付近にものを置いたり、地面に近い位置に設置したりすると、明るさを感知できなくなります。



明るさセンサーを「入：表示あり」にすると

- ・ 自動調整中、明るさセンサー機能の効果が画面に表示されます。



- ・ 音量表示中、消音中は表示されません。
- ・ メニュー画面表示中は表示されない場合があります。

◇おしらせ◇

- ・ AV ポジションが「ダイナミック (固定)」の場合は、明るさセンサーの設定ができません。

プロ設定の項目

項目	内容																
カラー マネージメント	<ul style="list-style-type: none"> 色の構成要素となる 6 つの系統色を調整し、色相・彩度・明度を変化させます。 カラーマネージメントの調整項目について（例：色相の調整の場合） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統色</th> <th style="text-align: center;">調整 -30.....0.....+30</th> <th>系統色</th> <th style="text-align: center;">調整 -30.....0.....+30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R(赤)</td> <td>マゼンタに近づく ⇄ 黄に近づく</td> <td>C(赤)</td> <td>緑に近づく ⇄ 青に近づく</td> </tr> <tr> <td>Y(黄)</td> <td>赤に近づく ⇄ 緑に近づく</td> <td>B(青)</td> <td>シアンに近づく ⇄ マゼンタに近づく</td> </tr> <tr> <td>G(緑)</td> <td>黄に近づく ⇄ シアンに近づく</td> <td>M(マゼンタ)</td> <td>青に近づく ⇄ 赤に近づく</td> </tr> </tbody> </table>	系統色	調整 -30.....0.....+30	系統色	調整 -30.....0.....+30	R(赤)	マゼンタに近づく ⇄ 黄に近づく	C(赤)	緑に近づく ⇄ 青に近づく	Y(黄)	赤に近づく ⇄ 緑に近づく	B(青)	シアンに近づく ⇄ マゼンタに近づく	G(緑)	黄に近づく ⇄ シアンに近づく	M(マゼンタ)	青に近づく ⇄ 赤に近づく
系統色	調整 -30.....0.....+30	系統色	調整 -30.....0.....+30														
R(赤)	マゼンタに近づく ⇄ 黄に近づく	C(赤)	緑に近づく ⇄ 青に近づく														
Y(黄)	赤に近づく ⇄ 緑に近づく	B(青)	シアンに近づく ⇄ マゼンタに近づく														
G(緑)	黄に近づく ⇄ シアンに近づく	M(マゼンタ)	青に近づく ⇄ 赤に近づく														
色温度	<ul style="list-style-type: none"> 青みがかった白（色温度：高）にするか、赤みがかった白（色温度：低）にするかを調整します。 																
QS 駆動 ^{*1*5*6} (120Hz)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 20%;">アドバンス（強）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 通常 60 コマ/秒で表示される映像を 120 コマ/秒に補間し、より滑らかに表示します。 動きの速い映像や撮影時にぼやけてしまった映像をくっきりと、より見やすくします。 </td> </tr> <tr> <td>アドバンス（標準）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 通常 60 コマ/秒で表示される映像を 120 コマ/秒に補間し、より滑らかに表示します。 動きの速い映像を落ち着き感のある表示とします。 </td> </tr> <tr> <td>スタンダード</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 </td> </tr> <tr> <td>しない</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> QS 駆動を停止します。 </td> </tr> </tbody> </table>	アドバンス（強）	<ul style="list-style-type: none"> 通常 60 コマ/秒で表示される映像を 120 コマ/秒に補間し、より滑らかに表示します。 動きの速い映像や撮影時にぼやけてしまった映像をくっきりと、より見やすくします。 	アドバンス（標準）	<ul style="list-style-type: none"> 通常 60 コマ/秒で表示される映像を 120 コマ/秒に補間し、より滑らかに表示します。 動きの速い映像を落ち着き感のある表示とします。 	スタンダード	<ul style="list-style-type: none"> 動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 	しない	<ul style="list-style-type: none"> QS 駆動を停止します。 								
アドバンス（強）	<ul style="list-style-type: none"> 通常 60 コマ/秒で表示される映像を 120 コマ/秒に補間し、より滑らかに表示します。 動きの速い映像や撮影時にぼやけてしまった映像をくっきりと、より見やすくします。 																
アドバンス（標準）	<ul style="list-style-type: none"> 通常 60 コマ/秒で表示される映像を 120 コマ/秒に補間し、より滑らかに表示します。 動きの速い映像を落ち着き感のある表示とします。 																
スタンダード	<ul style="list-style-type: none"> 動きの速い映像をくっきりと、より見やすくします。 																
しない	<ul style="list-style-type: none"> QS 駆動を停止します。 																
アクティブ コントラスト	<ul style="list-style-type: none"> シーンに応じて映像のコントラストを自動的に調整します。「する」「しない」の 2 つの中から選べます。^{*5} 																
ガンマ設定	<ul style="list-style-type: none"> 映像の明るい部分と暗い部分の階調の差を調整できます。 																
フィルムモード	<ul style="list-style-type: none"> フィルム収録の DVD など、元信号が 24 コマ/秒の映像を高画質で再生するための設定です。^{*2*4*5*6} <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 20%;">アドバンス（強）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 映像の動きをより滑らかにして高画質に再生します。 </td> </tr> <tr> <td>アドバンス（標準）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 映像の動きを滑らかにして高画質に再生します。 </td> </tr> <tr> <td>スタンダード</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 映像の各コマの表示時間を等しく再生します。より映画館の臨場感が味わえるモードです。 </td> </tr> <tr> <td>しない</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> フィルムモードを停止します </td> </tr> </tbody> </table>	アドバンス（強）	<ul style="list-style-type: none"> 映像の動きをより滑らかにして高画質に再生します。 	アドバンス（標準）	<ul style="list-style-type: none"> 映像の動きを滑らかにして高画質に再生します。 	スタンダード	<ul style="list-style-type: none"> 映像の各コマの表示時間を等しく再生します。より映画館の臨場感が味わえるモードです。 	しない	<ul style="list-style-type: none"> フィルムモードを停止します 								
アドバンス（強）	<ul style="list-style-type: none"> 映像の動きをより滑らかにして高画質に再生します。 																
アドバンス（標準）	<ul style="list-style-type: none"> 映像の動きを滑らかにして高画質に再生します。 																
スタンダード	<ul style="list-style-type: none"> 映像の各コマの表示時間を等しく再生します。より映画館の臨場感が味わえるモードです。 																
しない	<ul style="list-style-type: none"> フィルムモードを停止します 																
デジタル NR	<ul style="list-style-type: none"> ビデオなどの再生映像を、すっきりさせる機能です。^{*3*5*6} 																
明るさセンサー (OPC) 設定	<ul style="list-style-type: none"> 明るさセンサー（OPC）「入」時の、動作範囲の最大値と最小値をお好みの値に設定できます。 周囲の明るさにもよりますが、設定範囲がせまい場合は、明るさセンサーが働きません。 																

※ 1 ゲームのキー操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、「スタンダード」に設定してください。

※ 2 A/V ポジションが「ゲーム」のときは選択できません。

※ 3 A/V ポジションが「PC」のときは選択できません。

※ 4 入力信号が PC 信号のときは選択できません。

※ 5 USB メディアのときは選択できません。

※ 6 入力信号の機種や映像コンテンツによっては、効果がわからないことがあります。

はじめに
お読みください

接続

基本の使いかた

調整
その他の設定

パソコンで
制御する

故障かな？

お役立ち情報
(仕様や索引)

English
Guide

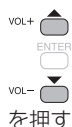
音質を調整する

音声調整をする

- 選択している AV ポジションの音声を調整できます。

1

普段使用しているときの音量にする



2

音声調整をしたい AV ポジションを選ぶ

- 音声調整の設定は、AV ポジションごとに記憶できます。「ダイナミック (固定)」以外
- 先に AV ポジションを選んでから音声調整をします。

AV ポジションの選びかた

- ⇒ 32 ページ

AV ポジションによる違いについて

- 「ダイナミック (固定)」では、調整できません。

3

メニュー画面で「 (音声調整)」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、30 ページをご覧ください。



4

調整したい項目を選ぶ

- 工場出荷時の設定に戻したいときは
- 「リセット」を選び、決定します。
▲▼ボタンで「する」を選び、決定します。



5

◆ 「オートボリューム」を設定する場合

- ▲▼ボタンで「強」「中」「弱」「切」のいずれかを選ぶ



◆ 「サラウンド」を設定する場合

- ▲▼ボタンで「入」「切」のいずれかを選ぶ



◆ 「壁掛視聴設定」を設定する場合

- ▲▼ボタンで「する」または「しない」を選ぶ



◆ 「声の聞きやすさ」を設定する場合

- ▲▼ボタンで「標準」「マイルド」「くっきり」「しない」のいずれかを選ぶ



◆ 「高音」「低音」「バランス」を設定する場合

- ◀▶ボタンでお好みの設定にする
- 操作を終了する場合は、MENU ボタンを押します。



音声調整の項目

項目	内容	
オート ボリューム	<ul style="list-style-type: none"> 映像が切り換わるときなどに極端に音量が変わるとき、自動的に音量を調整して不快感を軽減できます。 撮影した映像などの音量が小さすぎるときは、自動的に聞こえやすい音量になります。 	
	強	音量変化を強く抑え、音量差を最も小さくします。
	中	音量変化を中くらいに抑えます。
	弱	音量変化をわずかに抑えます。
	切	この機能を無効にします。元の音の音量変化を保ちます。
高音	高音を調整できます。	
低音	低音を調整できます。	
バランス	左右のスピーカー音声のバランスを調整できます。	
サラウンド	内蔵のスピーカーで臨場感あふれるサラウンド空間を擬似的に実現します。	
リセット	音声調整をすべて工場出荷時の設定に戻します。 (「声の聞きやすさ」は除きます。)	
壁 掛 視聴設定	壁掛け設置に適した音質にします。	
	する	付属の壁掛け金具で壁に設置する場合に選びます。
	しない	音質を補正しない場合に選びます。
声の聞き やすさ	人の声が聞き取りにくいとき、人の声に関する音域を強調させて聞き取りやすくすることができます。	
	標準*	音の大きさをそろえた標準的な音質にします。
	マイルド*	標準よりもマイルドな音質にします。 セリフ以外の効果音や雑音を小さくし、セリフを聞きとりやすくします。
	くっきり*	標準よりもくっきりした音質にします。 セリフの音質をくっきりさせて、聞きとりやすくします。
	しない	この機能を無効にします。
<small>※ 共通の内容：小さい音のセリフを大きく、大きな音のセリフを小さくすることにより、セリフを聞きとりやすくします。</small>		

◇おしらせ◇

次の場合は音声調整ができません

- AV ポジションを「ダイナミック (固定)」にしているとき
- ヘッドホンが接続しているとき (「ヘッドホン」設定が「モード2」のときを除く)

「オートボリューム」について

- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合、オートボリュームは自動的に設定され、変更できません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンの音声に対しては働きません。
- コンテンツによっては、本機能の効果が十分に得られない場合があります。

「サラウンド」について

- ヘッドホンで音声を聴いているときは、サラウンドの効果が得られません。
- コンテンツによっては、サラウンドの効果が得られないことがあります。

「声の聞きやすさ」について

- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンの音声に対しては働きません。
- コンテンツによっては、本機能の効果が得られない場合や、声の一部が聞きづらくなる場合があります。その場合は設定を変えるか「しない」にしてください。

壁掛け設置に適した音質を選ぶ

- この機能は、当社が開発した壁掛け設置に適した音質の設定機能です。

1

メニュー画面で「 (音声調整)」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。



を押す



で選ぶ

2

「壁掛視聴設定」を選ぶ



で選ぶ

ENTER

を押す

3

本機の設置場所に合わせて設定する



で選ぶ


ENTER

を押す

「壁掛視聴設定」の設定項目

項目	内容
する	・ 付属の壁掛け金具で部屋の壁に設置する場合に選びます。
しない	・ 音質を補正しない場合に選びます。

◇おしらせ◇

- 壁掛視聴設定は、一般的な壁に掛けた際の音を設定していますが、壁の材質や設定条件によっては、本設定が適さない場合があります。その場合は、「 (音声調整)」の他の項目を調整してください。
- 声の聞きやすさ設定を「標準」「マイルド」「くっきり」のいずれかに設定している場合は、壁掛視聴設定は選べません。
- この機能は、本機のスピーカーから出力される音声に対してのみ働きます。ヘッドホンや外部スピーカーの音声に対しては働きません。

ヘッドホンで聞くときの音の出かたを変える

- ヘッドホン使用中に、スピーカーとヘッドホン端子から出る音声を切り換えます。
- 「モード1」は、ヘッドホンだけで音を聞きたいときの設定です。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音が出なくなります。
- 「モード2」は、ヘッドホンをつないでもスピーカーから音が出ます。スピーカーだけでは聞きづらい方と、スピーカー音量を大きくし過ぎたくない方が一緒に楽しむときに便利な設定です。

1

メニュー画面で「 (機能切換)」-「外部端子設定」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。



を押す



で選ぶ

ENTER

を押す

2

「ヘッドホン」を選び、設定する



で選ぶ

ENTER

を押す

ヘッドホンを使用しているときの、音の出かた

項目	スピーカー	ヘッドホン
モード1	×	見ている画面の音声
モード2	見ている画面の音声	見ている画面の音声

◇おしらせ◇

「モード2」の音量調整について

- スピーカーの音量調整はリモコンで行います。
- ヘッドホンの音量調整は本体の▲VOL+ / ▼VOL- ボタンで行います。

ヘッドホンを使用しないとき

- 設定に関係なくスピーカーから音が出ます。


その他の設定をする

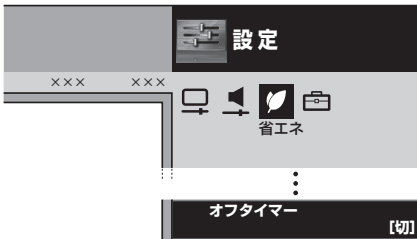
指定した時間経過後に電源を切る (オフタイマー)

1

メニュー画面で「 (省エネ)」-「オフタイマー」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

MENU
を押し

で選び
ENTER
を押す



2

「変更する」を選ぶ




で選び
ENTER
を押す

3

設定したい時間を選ぶ




で選び
ENTER
を押す

- オフタイマーの残り時間が5分になると、残り時間が画面左下に表示されます。
- オフタイマーを解除するには、「切」を選びます。

無信号オフの設定をする (HDMI 接続時)

- HDMI 機器からの信号が入力されない状態が続くと、約 15 分後に電源が切れるように設定できます。

1

メニュー画面で「 (省エネ)」-「無信号オフ」を選び、「する」に設定する

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

MENU
を押し

で選び
ENTER
を押す



- 電源が切れる 5 分前から画面左下に残り時間が表示されます。

◇ おしらせ ◇

- 工場出荷時は「しない」に設定されています。

オフタイマーの残り時間を確認するには

- オフタイマーがすでに設定されているときは、上記手順 1 の「オフタイマー」の項目でオフタイマーの残り時間が確認できます。

照明を消したときに本機の電源も切る (照明オフ連動)

- ※「照明オフ連動」が動きはじめたあとでリモコン操作を行うと、画面の明るさと音量が元に戻ります。
- ※「照明オフ連動」が動きはじめたあとで部屋が明るくなった場合は、「照明オフ連動」が解除されます。

項目	内容	
照明オフ連動	・ 照明オフ連動機能の「設定」「解除」を設定します。	
電源切 (待機状態) 移行時間	0分	・ 本機を置いている部屋の明るさがある程度の暗さになったら、すぐに本機の電源を「切」にします。
	15分*	・ 本機を置いている部屋の明るさがある程度の暗さになったら、画面の明るさと音量を徐々に下げ、15分後に本機の電源を「切」にします。
	30分*	・ 本機を置いている部屋の明るさがある程度の暗さになったら、画面の明るさと音量を徐々に下げ、30分後に本機の電源を「切」にします。
	60分*	・ 本機を置いている部屋の明るさがある程度の暗さになったら、画面の明るさと音量を徐々に下げ、60分後に本機の電源を「切」にします。
表示設定	アイコン+文字	・ 画面にアイコンとメッセージを表示します。
	文字のみ	・ 画面に文字を表示します。

1

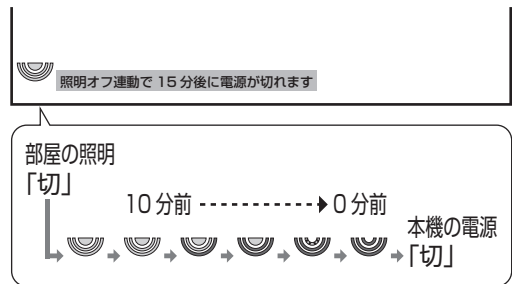
- MENU を押し
- で選ぶ
- ENTER を押し

メニュー画面で「省エネ」 -「照明オフ連動」を選ぶ

- ・ メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。



▼ 照明オフ連動の画面例 (表示設定：アイコン+文字)



- ・ 表示設定が「アイコン+文字」の場合は、1分ごとに大きなアイコンとメッセージが表示され、その後小さなアイコンが表示されます。
- ・ 表示設定が「文字のみ」の場合は、1分ごとにメッセージが表示されます。
- ・ 電源を切る 10分前から、残り時間が表示されます。

2

- で選ぶ

「照明オフ連動」で「設定」を選ぶ

周囲が暗くなってから、設定した時間後に電源を切ります。



0分 : 周囲が暗くなってから、すぐに電源を切ります。

3

- で選ぶ
- で選ぶ

それぞれの項目を設定する


- ① ▲▼ ボタンで項目を選ぶ
- ② ◀▶ ボタンで項目の値を選ぶ
 - ・ 操作を終了する場合は、MENU ボタンを押します。

◇ おしらせ ◇


- ・ 本機の明るさセンサー付近にものを置いたり、地面に近い位置に設置したりすると、部屋の明るさを感知できなくなり、照明オフ連動機能が正しく働かない場合があります。
- ・ 本機を置いている部屋が暗い状態で本機の電源を入れた場合は、照明オフ連動が働かないことがあります。(この機能は、ある程度の明るさに変ったときに働きます。)
- ・ 一部のメニューの操作中は、指定時刻になっても操作を優先しているため、電源が切れません。操作を終了したあとに、画面左下にアイコンや文字が表示され、電源が切れます。

リモコンまたは本体の操作をロックする (チャイルドロック)

項目	内容
しない	・リモコンでも本体のボタンでも操作できます。
リモコン操作ロック	・リモコンでの操作ができない状態にします。
本体操作ロック	・本体のボタンでの操作ができない状態にします。

1 メニュー画面で「 (機能切換)」-「チャイルドロック」を選ぶ

- ・メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。



MENU を押し
で選び
ENTER を押し

2 「しない」「リモコン操作ロック」「本体操作ロック」のいずれかを選ぶ

- ・「リモコン操作ロック」、「本体操作ロック」のどちらかを選んだ場合、確認の画面が表示されます。「する」を選ぶと、チャイルドロックが設定されます。

で選び
ENTER を押し


◇おしらせ◇
 ・誤ってリモコン操作をロックしてしまった場合は、本体の操作ボタン (⇒ **12, 13** ページ) で上記の操作をし、ロックを解除してください。

電源ランプの設定をする (電源 LED 設定)

- ・本体の電源ランプの点灯のしかたについて設定できます。

項目	内容	
	電源「入」	電源「切」
常に点灯しない	消灯	消灯
待機時のみ点灯	消灯	赤点灯 / 橙点灯※
視聴中のみ点灯	緑点灯	消灯
常に点灯	緑点灯	赤点灯 / 橙点灯※

※「パワーマネージメントオフ」が動いて電源「切」になった場合は橙色点灯、それ以外は赤点灯

1 メニュー画面で「 (機能切換)」-「電源LED設定」を選ぶ

- ・メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

MENU を押し
で選び
ENTER を押し

2 お好みの設定を選ぶ

で選び
ENTER を押し

◇おしらせ◇
 ・POWER (電源) ランプを確認するには、横設置の場合は下部から、縦設置の場合は右側面からの確認が必要です。設置状態でPOWER (電源) ランプが確認できるように配慮した設置をお願い致します。

HDMI CEC 対応の機器を接続したときは

HDMI CEC 機能とは

- HDMI 端子は、映像や音声信号だけでなく、HDMI ケーブルを介して機器間を制御するコントロール信号もやり取りすることができます。この相互に機器間を制御できる規格 – HDMI CEC (Consumer Electronics Control) – を使ってレコーダー、AV アンプなどを相互に制御しスムーズに連携できるようにしたものです。

HDMI CEC 機能を使うための設定

HDMI CEC 対応機器から本機を自動で起動する

- HDMI CEC 対応機器を操作すると本機の電源が自動的に入るように設定します。

1

メニュー画面で「 (機能切換)」 – 「HDMI CEC 設定」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

MENU
を押し

で選び
ENTER
を押す

2

「連動起動設定」を選び、「する」に設定する


で選び
ENTER
を押す



一般の HDMI 機器が誤作動するときは

- HDMI CEC に対応していない機器をつないでいるときに、その機器の電源が勝手に入ったりする場合に行う設定です。

1

メニュー画面で「 (機能切換)」 – 「HDMI CEC 設定」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

MENU
を押し

で選び
ENTER
を押す

2

「HDMI CEC 制御 (連動)」を選び、「しない」に設定する


で選び
ENTER
を押す



文字を入力する (ソフトウェアキーボード)



- 1 **文字種切換**
・ アルファベット・数字・記号を切り換えます。
- 2 **大文字 / 小文字**
・ アルファベットの大文字と小文字を切り換えます。
- 3 **入力完了**
・ 入力した文字を確定し、ソフトウェアキーボードを閉じます。
- 4 **入力取消**
・ 入力した文字を確定せずに、ソフトウェアキーボードを閉じます。
- 5 **(F1) (F2) (F3) ボタン**
(F1) ボタン：アルファベット・数字・記号を切り換えます。
(F2) ボタン：入力した文字を一文字ずつ消去します。
(F3) ボタン：入力した文字を確定します。

- 6 **カーソル**
・ カーソルのある場所に文字を入力できます。
- 7 **入力欄**
・ ここに文字を入力します。
- 8 **文字**
・ ▲▼◀▶ ボタンで文字を選びます。
- 9 **文字列消去**
・ 入力欄の文末にカーソルがあるときは、文字列を全消去します。
・ それ以外の場合は、カーソル以降の文字列を消去します。
- 10 **1文字消去**
・ カーソルの左側にある文字を消去します。

入力できる文字

アルファベット大文字

A	B	C	D	E	F
G	H	I	J	K	L
M	N	O	P	Q	R
S	T	U	V	W	X
Y	Z	:	/	.	SP

アルファベット小文字

a	b	c	d	e	f
g	h	i	j	k	l
m	n	o	p	q	r
s	t	u	v	w	x
y	z	:	/	.	SP

数字

1	2	3
4	5	6
7	8	9
	0	

記号

!	"	#	\$	%	&	`
*	+	,	-	.	/	:
;	<	=	>	?	@	
^	_	`		~	()
[]	{	}			SP


パソコンで本機を操作する

- ・ターミナルソフトなどを使って、電源入/切、音量調整、入力切換などの本機の操作ができます。
- ・パソコン（PC）を使い慣れたかたのご利用をお願いします。
- ・パソコンとの接続については⇒ **17** ページをご覧ください。

LAN 設定を行う

1



メニュー画面で「 (機能切換)」
- 「外部端子設定」- 「LAN設定」
- 「変更する」を選ぶ

- ・メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

DNS の IP アドレスを設定する

4



「する」または「しない」を選ぶ

「する」

- ・DNS の IP アドレスを自動で取得します。（モデムまたはルーターの DHCP サーバー機能を利用します。）

「しない」

- ・「プライマリ」と「セカンダリ」の IP アドレスを、ソフトウェアキーボードを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

5



「次へ」で決定する

IP アドレスを設定する

2



「する」または「しない」を選ぶ

「する」

- ・IP アドレスを自動で取得します。

「しない」

- ・「IP アドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、ソフトウェアキーボードを使って入力します。（入力方法は、**43** ページをご覧ください。）

3

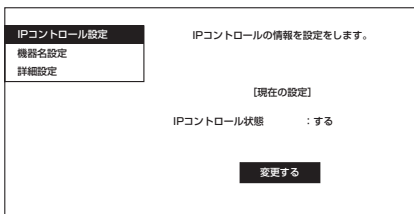


「次へ」で決定する

IPコントロール設定を行う

1
で選び
ENTER
を押す

「IPコントロール設定」を選ぶ



2
ENTER
を押す

「変更する」で決定する

3
で選び
ENTER
を押す

「する」を選ぶ

※ 「する」に設定したときは、「しない」に比べ、待機時の消費電力が増加します。

4

「機器名設定」や「詳細設定」を画面に従って設定する

- 「機器名」はターミナルソフトなどを使って、コントロールするパソコンがどの機器と接続しているかを確認するのに使用できます。
- 「ログインID」、「パスワード」はターミナルソフトなどで接続する際に必要になります。
- 「コントロールポート」はターミナルソフトなどに入力する値を設定してください。設定可能な値は 1024 ~ 65535 です。telnet ポート (23) や ssh ポート (22) は設定できません。

はじめに
お読みください

接続

基本の使いかた

調整 /
その他の設定

パソコンで
制御する

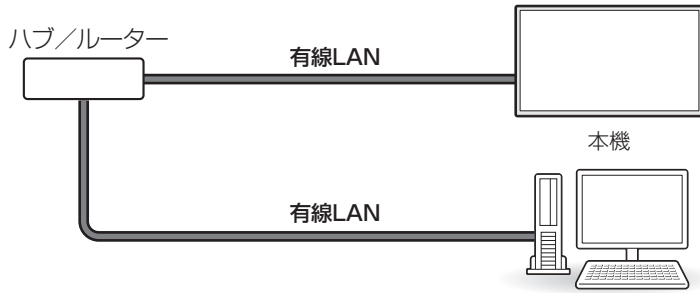
故障かな？

お役立ち情報
(仕様や索引)

English
Guide

パソコンと本機を接続する

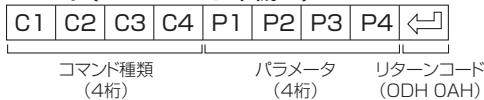
- 市販のLANケーブルを使って、パソコンと本機を接続します。



通信のしかた

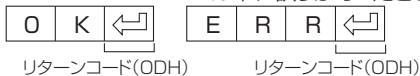
- パソコンからLANを通じて、本機に対して制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて動作し、レスポンスメッセージをパソコン側に送ります。
- 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時の戻り値(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(パソコンから本機へ)



レスポンス(本機からパソコンへ)

- 正常時
- 異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)



- コマンド送受信でリターンコードが異なりますのでご注意ください。

戻り値について

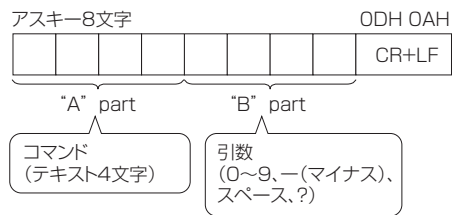
- コマンドの実行が終了したら、次の戻り値を返します。

OK(CR)

- コマンドが実行できなかったり、コマンド表になかったりした場合は、次の戻り値を返します。

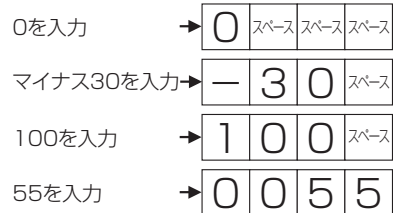
ERR(CR)

コマンドと引数について



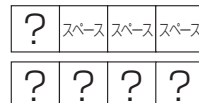
- "B" part は左詰めを入力し、残りはスペースで埋めます。(必ず4文字にしてください。) 設定可能範囲外の場合、「ERR」が返ります。

引数の例



- 次ページのコマンド一覧で引数が「-」になっているものは、「0」～「9」、「-」(マイナス)、スペース、「?」であれば何を書いてもかまいません。
- いくつかのコマンドは、引数に「?」を与えることにより、現在の設定値を返します。

引数の例



IP コントロールコマンド一覧

下の表に掲載されていないコマンドについては動作保証範囲外です。

機能		"A"PART			"B"PART			Part 動作説明	備考		
機種名		M	N	R	D	0	0	0	1	機種名取得	本機種固有のモデル名を取得
機種名 (IP コントロール用)		T	V	N	M	0	0	0	1	機種名 (IP コントロール) 取得	メニュー機能切替 -> 外部端子設定 -> IP コントロール設定 -> 機種名設定を取得
電源		P	O	W	R	?	?	?	?	電源状態を取得 (0: オフ / 1: オン)	
		P	O	W	R	0	0	0	0	電源オフ	待機時へ移行
		P	O	W	R	0	0	0	1	電源オン	待機時から復帰
入力切替	トグル	I	T	G	D	0	0	0	0	(トグル)	トグルで入力切替 (RGB → HDMI → USB メディア → RGB)
	入力状態	I	A	V	D	?	?	?	?	入力状態を取得 (1: RGB / 2: HDMI / 3: USB メディア)	
	PC 入力	I	A	V	D	0	0	0	1	RGB 入力に入力切替	
	HDMI 入力	I	A	V	D	0	0	0	2	HDMI 入力に入力切替	
	USB メディア入力	I	A	V	D	0	0	0	3	USB メディア入力に入力切替	
AV ポジション		A	V	M	D	?	?	?	?	AV ポジション状態を取得	取得値は設定値と同じ値
		A	V	M	D	0	0	0	0	(トグル)	現在選択できるものの中でトグル動作
		A	V	M	D	0	0	0	1	標準	
		A	V	M	D	0	0	0	2	映画	
		A	V	M	D	0	0	0	3	ゲーム	
		A	V	M	D	0	0	0	4	AV メモリー	
		A	V	M	D	0	0	0	5	ダイナミック (固定)	
		A	V	M	D	0	0	0	6	ダイナミック	
		A	V	M	D	0	0	0	7	RGB	
		A	V	M	D	0	0	1	1	スライドショー	
音量		V	O	L	M	?	?	?	?	音量値を取得	
		V	O	L	M	0	*	*	*	音量値 (0 ~ 100)	
画面調整	水平位置	H	P	O	S	?	?	?	?	水平位置を取得	RGB 入力 (※)
		H	P	O	S	*	*	*	_	水平位置を設定	RGB 入力 (※)
	垂直位置	V	P	O	S	?	?	?	?	垂直位置を取得	RGB 入力 (※)
		V	P	O	S	*	*	*	_	垂直位置を設定	RGB 入力 (※)
	クロック周波数	C	L	C	K	?	?	?	?	クロック周波数を取得	RGB 入力 (※)
		C	L	C	K	*	*	*	_	クロック周波数を設定	RGB 入力 (※)
	クロック位相	P	H	S	E	?	?	?	?	クロック位相を取得	RGB 入力 (※)
		P	H	S	E	*	*	*	_	クロック位相を設定	RGB 入力 (※)
画面サイズ		W	I	D	E	?	?	?	?	画面サイズ状態を取得	取得値は設定値と同じ値
		W	I	D	E	0	0	0	0	(トグル)	現在選択できるものの中でトグル動作
		W	I	D	E	0	0	0	1	ノーマル	(AV 系 / PC 系)
		W	I	D	E	0	0	0	4	シネマ	(AV 系 / PC 系)
		W	I	D	E	0	0	0	5	フル	(AV 系 / PC 系)
		W	I	D	E	0	0	0	8	アンダースキャン	(AV 系 720p)
		W	I	D	E	0	0	0	9	Dot by Dot	(AV 系 1080i, 1080p / PC 系)
		W	I	D	E	0	0	0	9	Dot by Dot	(AV 系 1080i, 1080p / PC 系)
消音		M	U	T	E	?	?	?	?	消音状態を取得 (1: 消音 / 2: 消音でない)	
		M	U	T	E	0	0	0	0	(トグル)	消音状態のトグル
		M	U	T	E	0	0	0	1	消音	
		M	U	T	E	0	0	0	2	消音解除	
サラウンド		A	C	S	U	?	?	?	?	サラウンド状態を取得 (1: 入 / 2: 切)	
		A	C	S	U	0	0	0	0	(トグル)	サラウンド状態のトグル
		A	C	S	U	0	0	0	1	入	
		A	C	S	U	0	0	0	2	切	
オフタイマー		O	F	T	M	?	?	?	?	オフタイマー残時間を取得	
		O	F	T	M	0	0	0	0	解除	
		O	F	T	M	0	0	0	1	オフタイマー 30分	
		O	F	T	M	0	0	0	2	オフタイマー 1時間	
		O	F	T	M	0	0	0	3	オフタイマー 1時間 30分	
		O	F	T	M	0	0	0	4	オフタイマー 2時間	
		O	F	T	M	0	0	0	5	オフタイマー 2時間 30分	
リモコン		I	R	C	O	0	1	1	3	INPUT	
		I	R	C	O	0	1	1	4	VOI+	
		I	R	C	O	0	1	1	5	VOL-	
		I	R	C	O	0	1	1	7	MUTE	
		I	R	C	O	0	1	1	B	DISPLAY/F1	
		I	R	C	O	0	1	2	0	カーソル下	
		I	R	C	O	0	1	3	2	RGB	
		I	R	C	O	0	1	3	3	HDMI	
		I	R	C	O	0	1	3	9	MODE/F2	
		I	R	C	O	0	1	5	2	ENTER	
		I	R	C	O	0	1	5	7	カーソル上	
		I	R	C	O	0	1	C	4	MENU	
		I	R	C	O	0	1	D	5	SIZE/F3	
		I	R	C	O	0	1	D	7	カーソル左	
		I	R	C	O	0	1	D	8	カーソル右	
		I	R	C	O	0	1	E	4	RETURN	

(※) 入力、信号、画面サイズによって値の範囲が変わります。

"B"PART 欄の「_」はスペース、「*」は「0」~「9」、「-」(マイナス)のいずれかが該当します。また、「000X」の入力は「X _ _ _」のように入力してかまいません。「X」は「0」~「9」)

はじめに
お読みください

接続

基本の使いかた

調整 /
その他の設定

パ
ン
コ
ン
で
制
御
す
る

故障かな?

お役立ち情報
(仕様や索引)

English
Guide

故障かな？と思ったら

- ・故障かな？と思ったら、修理を依頼される前にもう一度お調べください。なお、アフターサービスについては「アフターサービスについて」(⇒ 59 ページ) をご覧ください。

故障かな？と思ったら →

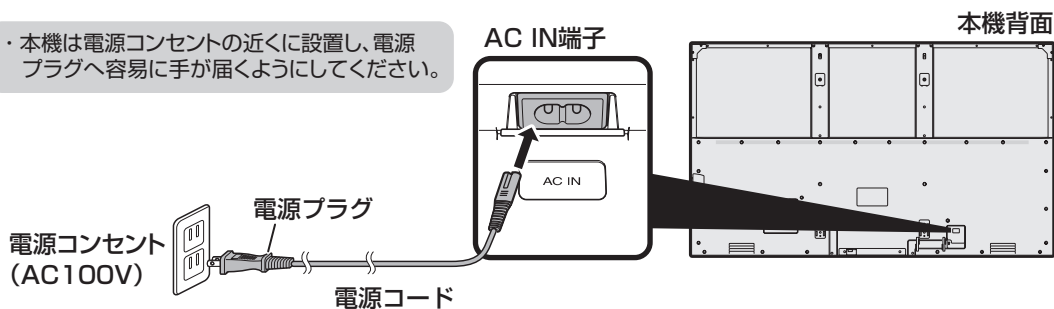
まず確認してください

電源が入らない

電源コードのプラグを、本機側、電源コンセント側ともに、奥まで確実に差し込んでください
(⇒ 18 ページ)

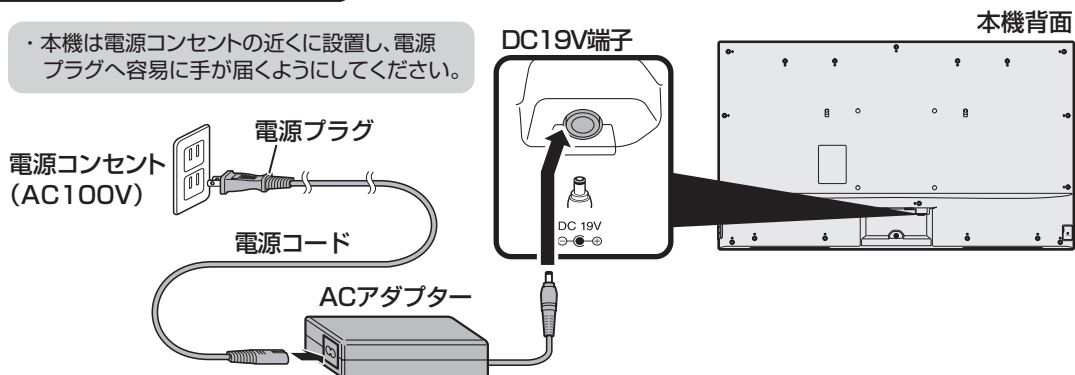
LB-T601

- ・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。



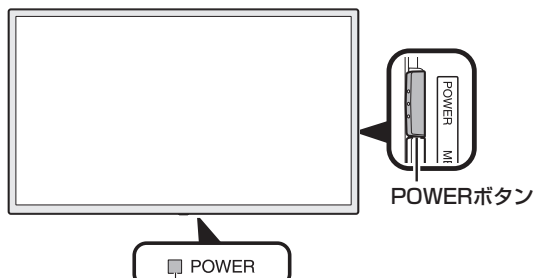
LB-T461/LB-T401

- ・本機は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。






ランプが点灯していないときは、本体のPOWERボタンを押して電源を入れてください(⇒ 12、13ページ)

(電源LED設定が「常に点灯」、「視聴中のみ点灯」に設定されているとき)



POWER (電源)ランプが緑色に点灯します。
(電源LED設定が「常に点灯」、「視聴中のみ点灯」に設定されているとき)

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
 映像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。また、本機側から抜けていませんか。 本体の POWER (電源) ランプが緑色に点灯していますか。(電源 LED 設定が「常に点灯」、「視聴中のみ点灯」に設定されているとき) 外部機器の映像が出ないとき、正しく入力切り換えができていますか。 接続ケーブルが抜けていませんか。 	18 12, 13 20 -
リモコンが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> 本体の POWER (電源) ランプが緑色に点灯していますか。(電源 LED 設定が「常に点灯」、「視聴中のみ点灯」に設定されているとき) 乾電池の極性 (⊕、⊖) が逆になっていませんか。 リモコンの乾電池が消耗していませんか。 リモコンはリモコン受光部に向けてお使いですか。 本機のリモコン受光部は底面にあります。底面に向けて操作してください。 以下の場合、リモコンで動作しにくくなります。 <ul style="list-style-type: none"> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。 リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっていませんか。 照明の向きを変えるなどしてみてください。 蛍光灯などが近くにありませんか。 電池の端子が酸化 (薄黒く) していませんか。室温が極端に低下していませんか。 操作範囲内で操作していますか。 チャイルドロックが設定されていませんか。 	12, 13 14 14 14 14 - 14 41
 映像は出るが 音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 音量調整が最小になっていませんか。 「消音」状態になっていませんか。 ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか。 	14 14 12, 13
 色が薄い 色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。 	33 ~ 34
画面が暗い 黒色が潰れる	<ul style="list-style-type: none"> 「AV ポジション」をご確認ください。「標準」でも暗いと感じる場合は、「AV メモリー」を試してください。 	32
画面がちらついたりざらついたりする	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの画面が最適にならない場合は、自動または手動で画面調整を行ってください。 「プロ設定」の「デジタル NR」を、「オート」「強」「中」「弱」のいずれかに設定してみてください。 	23 ~ 25 33・ 35
本機の上部 / 背面部が熱い	<ul style="list-style-type: none"> 内部の回路から発生する熱で温まった空気が自然な対流により、上部を通して抜ける構造になっているため、上部が温かくなります。本体の温度が異常に上昇したときは画面右下に「温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れます。 	-
LAN コントロール (IP コントロール) が働かない	<ul style="list-style-type: none"> LAN 設定は正しいですか。 IP コントロール設定を「する」に設定していますか。 ターミナルソフトの設定は正しいですか。 	44 45 -

こんなときに	ここをお確かめください	ページ
画面右下に「温度」の文字が点滅し、その後、自動的に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の温度が上昇したためです。温度が上昇した原因を取り除いてください。 • 本機の設置状態や場所が、温度が上がりやすい状態にないかご確認ください。本機背面の通風孔がふさがらないように設置してください。 • 本機の内部や通風孔にたまっているホコリで、外部から取り除けるものはこまめに取り除いてください。内部のホコリの除去については、お買いあげの販売店にご相談ください。 	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
ときどき「ピシッ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> • 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。 	—
電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> • 自動で電源がオフになるモードになっていませんか。 	22・39
ゲームやカラオケの反応が遅い	<ul style="list-style-type: none"> • ゲームのキー操作に対して画面の反応が遅く感じられる場合やカラオケの音声が遅れて感じられる場合は、AV ポジションを「ゲーム」に変更してください。また、「QS 駆動 (120Hz)」の設定を「スタンダード」に変更してください。 	33・35

こんなときは

本機の操作ができなくなったときは

- 強い外来ノイズ（過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、本機が操作できないなどの異常が発生することがあります。
- このときは、本体の POWER ボタンを押して、一旦電源を切ったあと、再度電源を入れてから、操作をやり直してください。
- 電源を入れ直してもまだ操作できないときは、本体の POWER ボタンを 5 秒以上押し続けてください。本機の電源がいったん切れますので、約 1 分待ってから本体の POWER ボタンを押して電源を入れたあと、再び操作をやりなおしてください。

工場出荷時の設定に戻す（設定初期化）

1

MENU
を押す



で選び
ENTER
を押す

2



で選び
ENTER
を押す

メニュー画面で「色(機能切換)」 - 「設定初期化」を選ぶ

- メニュー画面の使いかたについては、**30** ページをご覧ください。

「する」を選ぶ

メニュー項目の一覧

・表示内容は、入力や設定の条件によって異なる場合があります。

映像調整

AV ポジション(画質切換)	標準、映画、ゲーム、PC、AV メモリー、スライドショー、ダイナミック、ダイナミック(固定)
明るさセンサー(OPC)	切、入、入：表示あり
明るさ	-16 ~ 0 ~ +16
映像	0 ~ +40
黒レベル	-30 ~ 0 ~ +30
色の濃さ	-30 ~ 0 ~ +30
色あい	-30 ~ 0 ~ +30
画質	-10 ~ 0 ~ +10
プロ設定	→ カラーマネージメント-色相
リセット	する、しない

カラーマネージメント-色相		R	-30 ~ 0 ~ +30
カラーマネージメント-彩度		Y	-30 ~ 0 ~ +30
カラーマネージメント-明度		G	-30 ~ 0 ~ +30
色温度	高、高-中、中、中-低、低	C	-30 ~ 0 ~ +30
QS 駆動(120Hz)	アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない	B	-30 ~ 0 ~ +30
アクティブコントラスト	する、しない	M	-30 ~ 0 ~ +30
ガンマ設定	-2 ~ 0 ~ +2	リセット	
フィルムモード	アドバンス(強)、アドバンス(標準)、スタンダード、しない		
デジタル NR	オート、強、中、弱、しない		
明るさセンサー(OPC)設定	→ 最大値設定 -16 ~ 0 ~ +16 → 最小値設定 -16 ~ 0 ~ +16		

音声調整

オートボリューム	強、中、弱、切
高音	-15 ~ 0 ~ +15
低音	-15 ~ 0 ~ +15
バランス	左 30 ~ 中央 ~ 右 30
サラウンド	入、切
リセット	する、しない
壁掛視聴設定	する、しない
声の聞きやすさ	標準、マイルド、くっきり、しない

省エネ

照明オフ連動	→ 照明オフ連動	解除、設定
	電源切(待機状態)移行時間	0分、15分、30分、60分
	表示設定	アイコン+文字、文字のみ
無信号オフ	する、しない(HDMI 入力時)	
パワーマネージメントオフ	する、しない(アナログRGB入力時)	
オフタイマー	→ 変更する	切、0 時間 30 分、1 時間 00 分、1 時間 30 分、2 時間 00 分、2 時間 30 分
	→ 変更しない	

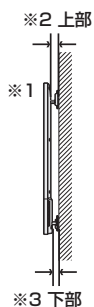
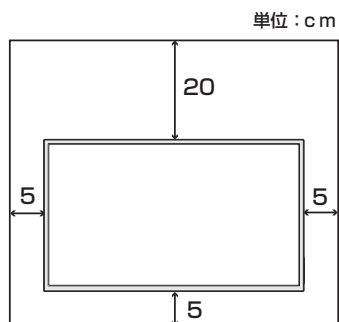
機能切換

HDMI CEC 設定	→ HDMI CEC 制御(連動)	する、しない
	→ 連動起動設定	する、しない
外部端子設定	→ ヘッドホン	モード1、モード2
	→ パソコン入力(アナログRGB入力時のみ表示)	→ 入力解像度
	→ 入力音声選択	HDMI のみ、HDMI+ 音声入力端子(HDMI 入力時)
	→ LAN 設定	IP アドレス DNS
	→ IP コントロール設定	→ IP コントロール設定
	→ 入力表示(RGB/HDMI入力時に表示)(選択入力で内容変化)ユーザー設定：編集	→ 機器名設定
		→ 詳細設定
		自動、1024×768、1360×768
		する、しない
		水平位置、垂直位置、クロック周波数、クロック位相、リセット
		する、しない
		ログイン ID
		パスワード
		コントロールポート
チャイルドロック	しない、リモコン操作ロック、本体操作ロック	
起動設定	通常、USB スライドショー	
電源 LED 設定	常に点灯しない、待機時のみ点灯、視聴中のみ点灯、常に点灯	
Language(言語)	日本語、English	
設定初期化	する、しない	

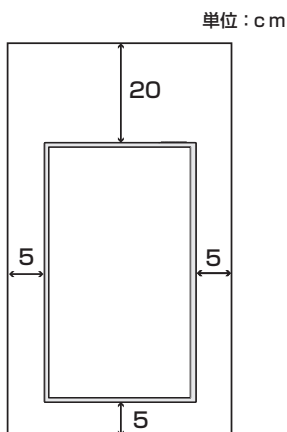
設置について

- 本機は周囲温度 0℃～ 40℃の範囲内でご使用ください。熱がこもるのを防ぐため、周囲の空間を確保ください。

横設置で使用する場合



縦設置で使用する場合



- ※ 2 上部（縦設置時の左部）
LB-T401/LB-T461：13 mm以上
LB-T601：25 mm以上
- ※ 3 下部（縦設置時の右部）
LB-T401/LB-T461：7 mm以上
LB-T601：12 mm以上

- ※ 1壁などに接して設置する場合は、使用中熱を持ちますのでご注意ください。変色や変質の原因となる場合があります。

お読みください

接続

基本の使いかた

調整
その他の設定

パソコンで
制御する

故障かな？

お役立ち情報
(仕様や索引)

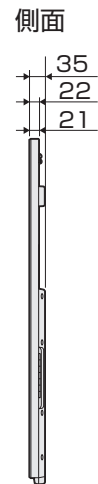
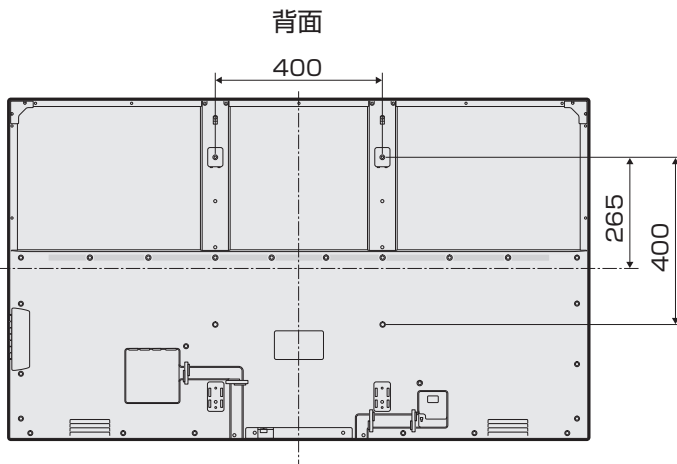
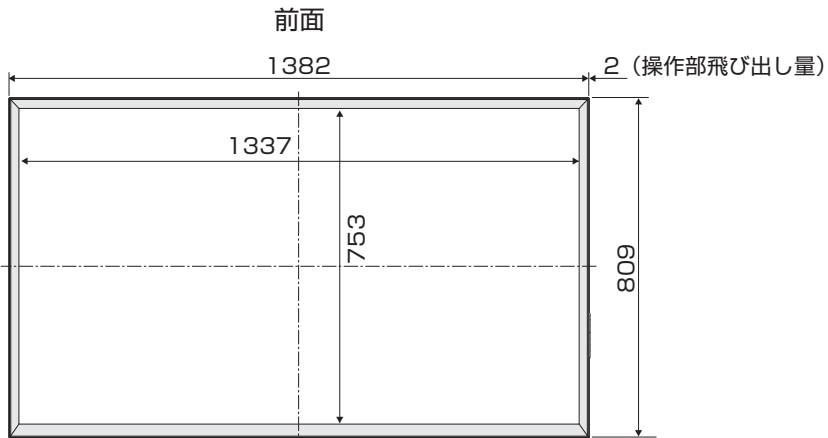
English
Guide

寸法図

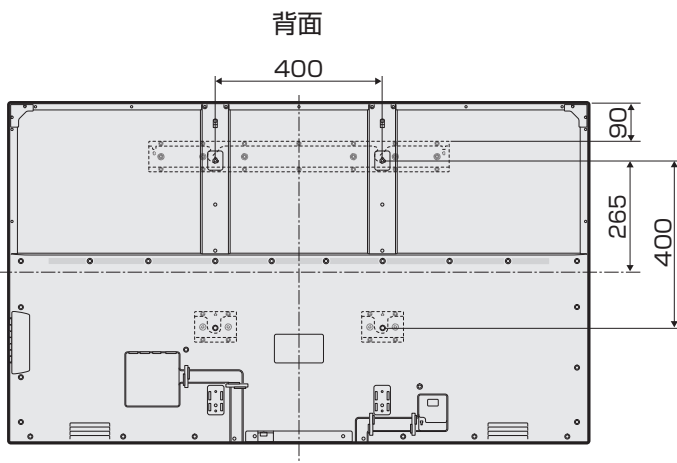
・ 数値はおよその値です。

LB-T601

(単位 : mm)

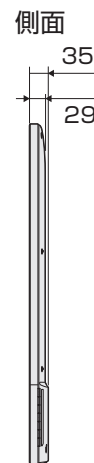
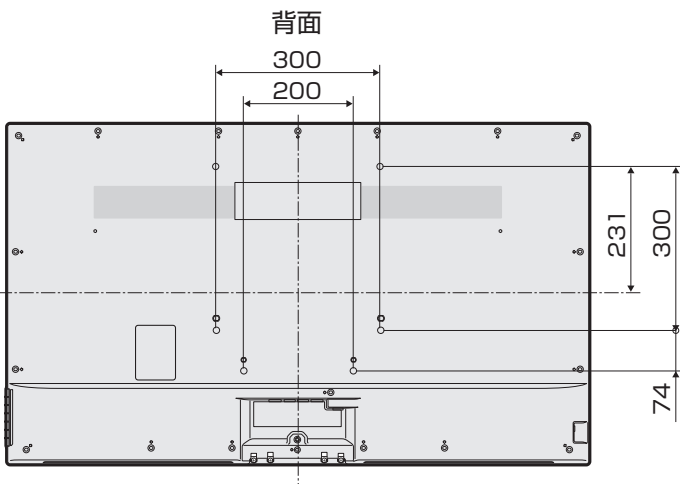
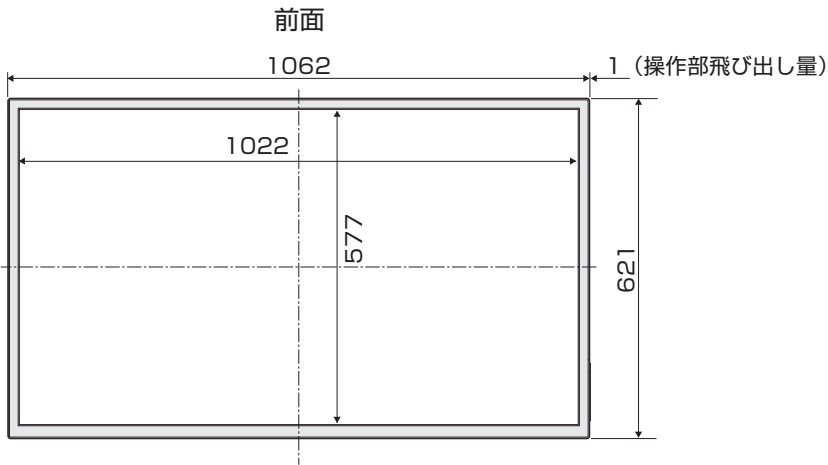


壁掛け金具使用時

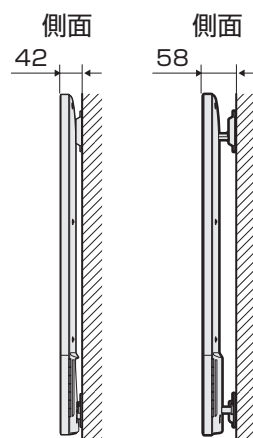
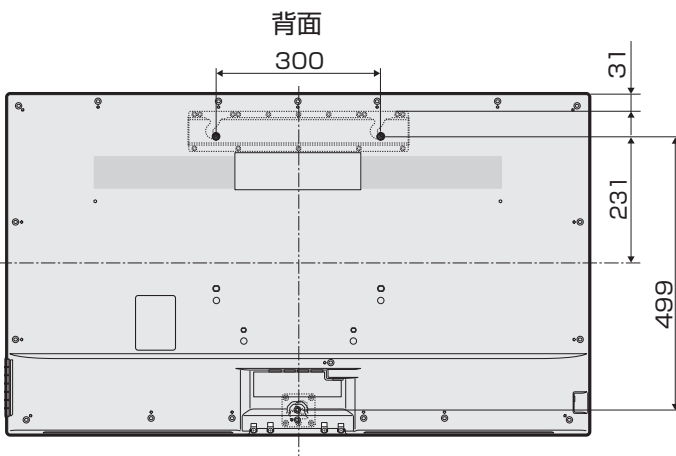


LB-T461

(単位 : mm)



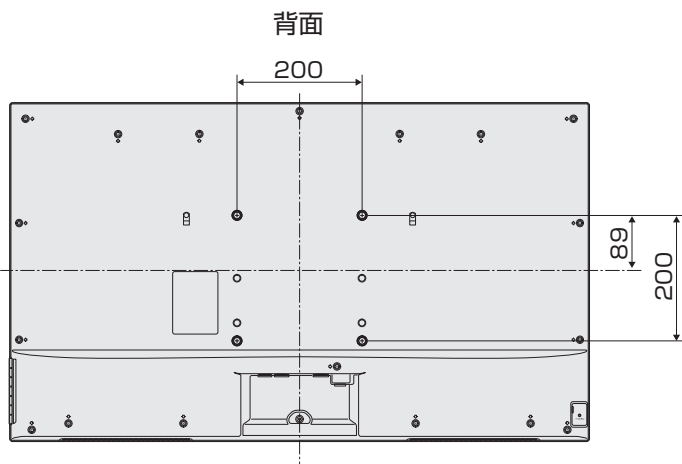
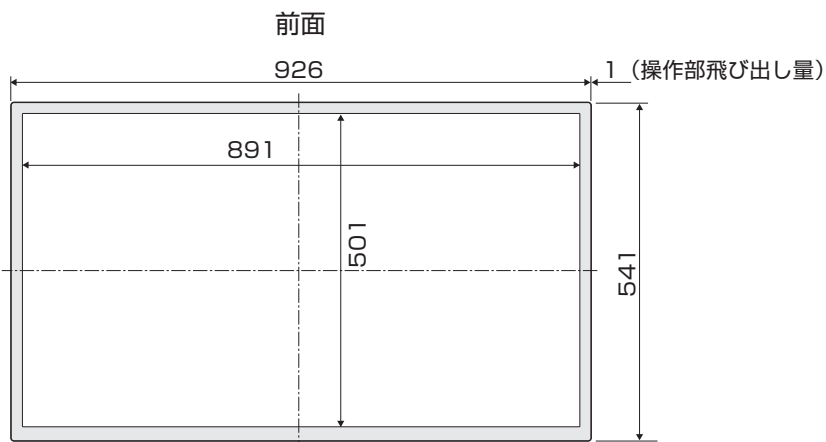
壁掛け金具使用時



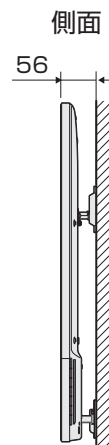
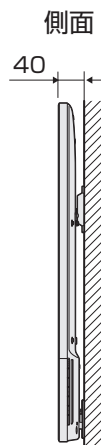
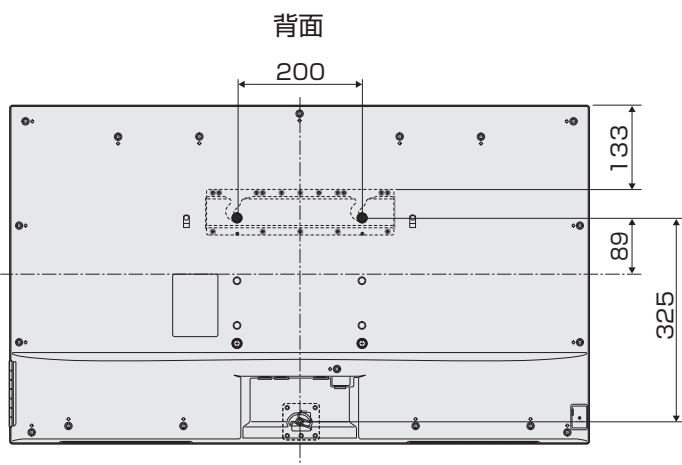
(壁掛け用延長ボルト使用時)

LB-T401

(単位 : mm)



壁掛け金具使用時

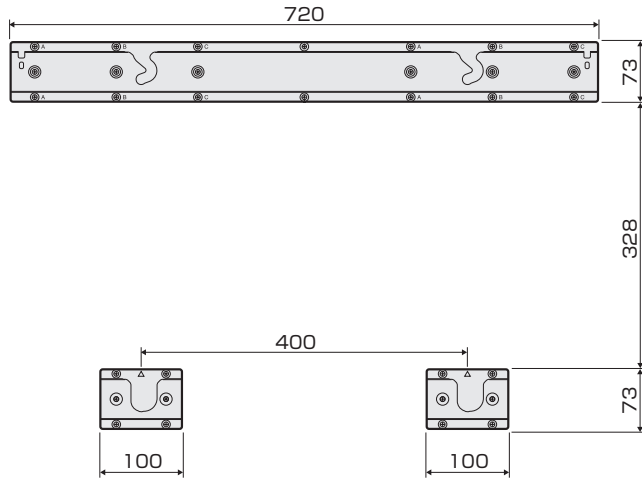


(壁掛け用延長ボルト使用時)

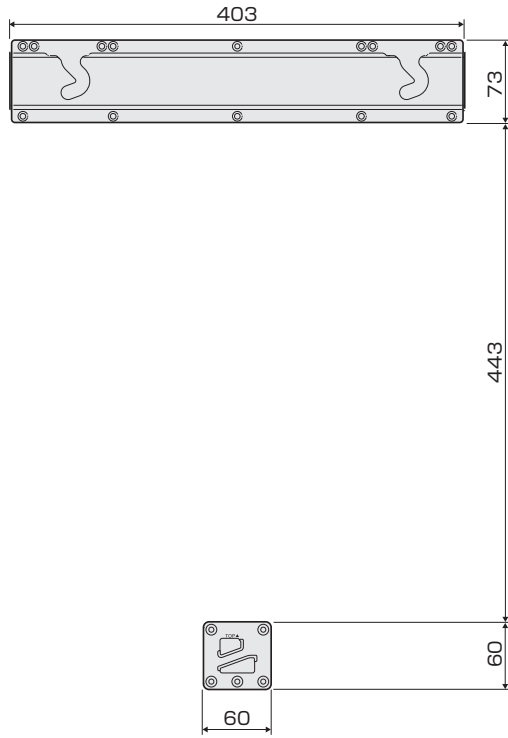
壁掛けスリム金具

(単位：mm)

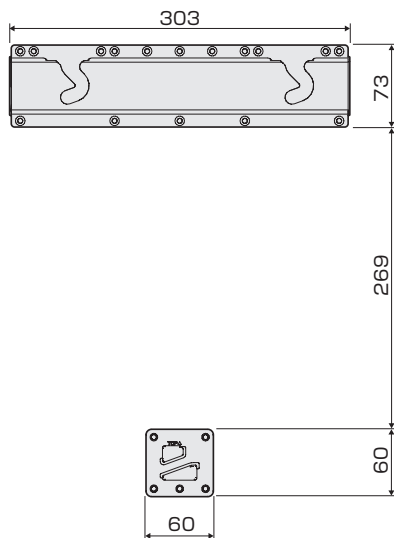
LB-T601



LB-T461



LB-T401



はじめに
お読みください

接続

基本の使いかた

調整
その他の設定

パソコンで
制御する

故障かな？

お役立ち情報
(仕様や索引)

English
Guide

おもな仕様について

品名		液晶モニター		
形名		LB-T601	LB-T461	LB-T401
液晶パネル	表示サイズ	60V型 (横132.9cm× 縦74.8cm/ 対角152.5cm)	46V型 (横101.8cm× 縦57.3cm/ 対角116.8cm)	40V型 (横88.6cm× 縦49.8cm/ 対角101.6cm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式		
	画素数	1,920(水平)×1,080(垂直) 画素		
	使用光源	LED		
スピーカー		6.0cm 丸型2個、 1.4cm×3.5cm トラック型2個	6.0cm 丸型2個	
音声実用最大出力(JEITA)		20W (10W+10W)	15W (7.5W+7.5W)	10W (5W+5W)
使用電源		AC100V・50/60Hz	AC100V・50/60Hz(ACアダプター使用時)	
消費電力		148W (電源待機時:0.1W、 入力信号待機時:0.4W* ³ IPコントロール設定「する」 時:25W)	91W* ¹ /81W* ² (電源待機時:0.5W、 入力信号待機時:1.0W* ³ IPコントロール設定「する」 時:13W)	74W* ¹ /65W* ² (電源待機時:0.35W、 入力信号待機時:1.0W* ³ IPコントロール設定「する」 時:13W)
接続端子		HDMI入力1系統1端子、USB1系統1端子、ヘッドホン接続端子、LAN1系統1端子(10BASE-T/100BASE-TX)、D-sub/AUDIO入力端子 (D-subケーブル、PC用音声ケーブルは、同梱のD-sub/音声変換ケーブルを使用し接続します。)		
外形寸法		幅 約138.2cm 奥行 約 3.5cm 高さ 約 80.9cm	幅 約106.2cm 奥行 約 3.5cm 高さ 約 62.1cm	幅 約92.6cm 奥行 約 3.3cm 高さ 約 54.1cm
本体質量		約21.0kg	約12.0kg	約9.0kg
使用温度範囲		0℃～40℃		
使用湿度範囲		30%～80%		

*1 ACアダプター使用時

*2 本体(19V入力時)

*3 アナログRGB入力時のみ有効

■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■ 表示サイズの「××V型」は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。また、見る角度によっては、色ムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部: 限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

◇ お知らせ ◇

本機に同梱されている* AC アダプターについて

- 同梱の AC アダプターには、「シャープ液晶カラーテレビ専用」と表記されていますが、液晶モニターに使用できる事を確認しており、問題ありません。

* AC アダプターは、LB-T401/LB-T461 用です。

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から1年間です（ただし、光源のLEDバックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（⇒48ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分で修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

- ・品名：液晶モニター
- ・形名：LB-T601 / LB-T461 / LB-T401（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ・ご購入日（年月日）
- ・故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れなどのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入の販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。

<シャープサポートページ>
<http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/>



使いかたのご相談など

使いかたや接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

なお、製品に関するご質問（仕様など）は、下記でもお受けいたします。

シャープ株式会社

国内営業本部	03-3260-8333	〒162-8408 東京都新宿区市谷八幡町8番地
ディスプレイシステム営業部	0743-55-6373	〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

受付時間

月曜～金曜：9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日など弊社休日
は休ませていただきます。）



修理のご相談など

（修理ご相談窓口）（沖縄地区を除く）

シャープドキュメントシステム株式会社

0570-00-5008（●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。）
（●携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…

沖縄シャープ電機株式会社 098-861-0866
（月曜～金曜：9:00～17:30）
（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）



持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

北海道 札幌技術センター (011)641-0751 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17 函館出張所 (0138)52-5190 〒040-0001 函館市五稜郭町31-17 旭川技術センター (0166)22-8284 〒070-0031 旭川市一条通4-左10 青森 青森技術センター (017)738-7778 〒030-0121 青森市妙見3-3-4 八戸出張所 (0178)45-2631 〒031-0802 八戸市小中野2-8-16 岩手 岩手技術センター (019)638-6085 〒020-0891 紫波郡矢野町流通センター南3-1-1 秋田 秋田出張所 (018)865-1258 〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56 宮城・仙台技術センター (022)288-9161 山形 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27 福島 福島技術センター (024)959-1421 〒963-0547 郡山市喜久田町部3-27-2 新潟 新潟技術センター (025)284-6023 〒950-0965 新潟市中央区新光町9番2 長岡出張所 (0258)23-1850 〒940-1104 長岡市栞田屋町字崩2600 栃木 宇都宮技術センター (028)634-0256 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41 群馬 前橋技術センター (027)252-7311 〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7 茨城 水戸技術センター (029)243-0909 〒310-0851 水戸市千波町1963 東京 東京フィールドサポートセンター ビジネスシステム技術部 (東京第1技術センター) (03)3624-7476 〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3 山梨 (西東京担当) (042)548-1931 〒190-0023 東京都立川市柴崎町6-10-17 埼玉 (埼玉担当) (048)666-7148 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-107-2 千葉 (千葉担当) (043)299-8855 〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2 神奈川 横浜技術センター (045)753-9540 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23	長野 松本技術センター (0263)85-4118 〒399-0031 松本市芳川小屋84-1 長野出張所 (026)293-6360 〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1 石川 金沢技術センター (076)249-9033 〒921-8801 石川郡野々市町御鐘塚4-103 富山 富山出張所 (076)451-3933 〒930-0997 富山市新庄北町5-63 福井 福井出張所 (0776)53-6050 〒918-8206 福井市北四ツ屋町625 静岡 静岡技術センター (054)344-5621 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1 沼津出張所 (055)924-1028 〒410-0062 沼津市官前町11-4 浜松出張所 (053)423-1660 〒435-0051 浜松市東区市野町2565-1 愛知 名古屋第1技術センター (052)332-2758 岐阜 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5 豊橋出張所 (0532)54-1830 〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1 岡崎出張所 (0564)33-7178 〒444-0904 岡崎市西大友町字枕穴90-1 三重 三重技術センター (059)231-1573 〒514-0131 津市あつた台4-6-4 奈良 奈良技術センター (0743)53-2023 〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492 京都 京都技術センター (075)681-9551 滋賀 〒601-8102 京都市南区上鳥羽菅田町48 大阪 大阪フィールドサポートセンター (06)6794-9671 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19 北大阪出張所 (072)634-4683 〒567-0831 茨木市勘川5-15-3 堺技術センター (072)221-0451 〒590-0048 堺市堺区一条通16-8 和歌山 和歌山出張所 (073)445-6298 〒641-0031 和歌山市西小二里2-4-91 兵庫 神戸技術センター (078)795-6336 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-15-2 阪神出張所 (06)6421-2304 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10	島根・松江技術センター (0852)21-6110 鳥取 〒690-0017 松江市西平田3-1-10 岡山 岡山技術センター (086)292-5830 〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828 広島 福山技術センター (084)952-0736 〒720-0837 福山市瀬戸町地頭分5-5 広島島技術センター (082)874-6100 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4 山口 山口出張所 (083)972-4525 〒754-0024 山口市小郡若草町4-12 香川 高松技術センター (087)823-4980 徳島 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8 高知 高知技術センター (088)883-7039 〒781-8104 高知市高須1-14-43 愛媛 松山技術センター (089)973-0121 〒791-8036 松山市高岡町178-1 福岡 福岡技術センター (092)572-2617 佐賀 〒812-0881 福岡市博多区井田2-12-1 南福岡出張所 (0942)45-4551 〒839-0812 久留米市山川安居野3-12-47 北九州技術センター (093)592-6510 〒803-0814 北九州市小倉北区大手町6-12 大分 大分出張所 (097)552-2164 〒870-0913 大分市松原町3-5-3 長崎 長崎技術センター (095)753-3858 〒856-0817 大村市古賀島町613-3 熊本 熊本技術センター (096)237-5353 〒861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227-78 鹿児島 鹿児島技術センター (099)259-0628 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1 宮崎 宮崎出張所 (0985)28-8371 〒880-0851 宮崎市港東1-3-2
--	---	---

沖縄シャープ電機株式会社 <受付時間>月曜～金曜：9:00～17:30（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）
沖縄 沖縄シャープ電機（株）(098)861-0866 〒900-0002 那覇市羅2-10-1

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。（2012.6）

本機で使用している特許など

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License (以下、GPL)、GNU Lesser General Public License (以下、LGPL)、またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下のWEB サイトをご覧ください。

http://www.sharp.co.jp/lcd-display/corporate/support/download/source_lbt.html

なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

謝辞

本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- LVM2.2
- module-init-tools
- bash
- glibc
- libncurses
- util-linux

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1.Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
- 4.The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
- 5.Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
- 6.Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;

LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

SSLLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
この製品に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部LCフォントでないものも使用しています。

索引

・ 本体およびリモコンの「各部のなまえ」については、⇒ **12 ~ 14** ページをご覧ください。

英数字・記号

AVポジション	32
AVメモリー	32
D-sub	17
HDMI	15・16・26・42
IPコントロール設定	45
IPコントロールコマンド一覧	47
JPEG	27
Language(言語)	65
LAN設定	44
PC(AVポジション)	32
PC入力対応表	25
POWER(電源)ランプ	19
QS駆動(120Hz)	35
RGB	17・22
USB	27
USBスライドショー	19・29
USBメモリー	27

あ行

明るさ	33・34
明るさセンサー(OPC)	33・34
明るさセンサー(OPC)設定	35
明るさセンサー受光部	34
アクティブコントラスト	35
アンダースキャン(画面サイズ)	31
色あい	33・34
色温度(映像調整)	35
色の濃さ	33・34
映画(AVポジション)	32
映像	33・34
映像調整	33・34
オートボリュウム	36・37
お手入れのしかた	10
オフタイマー	39
音声調整	36
「温度」の文字点滅表示	50

か行

外部端子設定	23・26・38
画質	33・34
壁掛け時の音声	38

画面サイズ	21・31
カラーマネージメント(色相・彩度・明度)	35
乾電池の入れかた	14
ガンマ設定	35
起動設定	19
機能切換	30
黒レベル	33・34
ゲーム(AVポジション)	32
高音	36・37
声の聞きやすさ	36・37

さ行

サラウンド	36・37
シネマ(画面サイズ)	21・31
仕様	58
省エネ	30
省エネ設定	39~41
消音	14
使用温度	11・58
初期化	51
照明オフ連動	40
スライドショー	29
スライドショー(AVポジション)	32
寸法図	54
静止画を表示	27
設定	30
ソフトウェアキーボード(文字入力)	43

た行

ダイナミック/ダイナミック固定(AVポジション)	32
チャイルドロック	41
低音	36・37
デジタルNR	35
電源LED設定	41
電源コードをつなぐ	18
電源の入/切	19
電源ランプの設定	41

な行

入力音声選択	26
入力解像度(PC入力信号の解像度)	25
入力できる文字の一覧	43
入力表示	20

はじめに
お読みください

接続

基本の使いかた

調整/
その他の設定

パソコンで
制御する

故障かな?

お役立ち情報
(仕様や索引)

English
Guide

ノーマル(画面サイズ)21・31

は行

バランス36・37

パワーマネージメント22

標準(AVポジション)32

フィルムモード35

付属品2~3

フル(画面サイズ)21・31

プロ設定33・35

ヘッドホン(設定)38

保証とアフターサービス59

ま行

無信号オフ39

文字入力(ソフトウェアキーボード)43

メニュー項目一覧52

ら行

リモコン14

連動起動設定42

Switching the Display Language to English メニューなどの言語を英語にする

- Using the Menu screen, you can switch the on-screen display language to English.
メニューなどの画面表示を英語にすることができます。

1

Display the Menu screen.
メニュー画面を表示する

Press
MENU



2

Select "機能切換" (Change function).
「機能切換」を選ぶ


Select with

Press
ENTER



3

Select "Language(言語)".
「Language(言語)」を選ぶ

Select with

Press
ENTER



4

Select "English".
「English」を選ぶ
Enter.
決定する

Select with

Press
ENTER



- The menu screen is now displayed in English.
- 画面表示が英語になります。

5

Finish this operation.
終了する

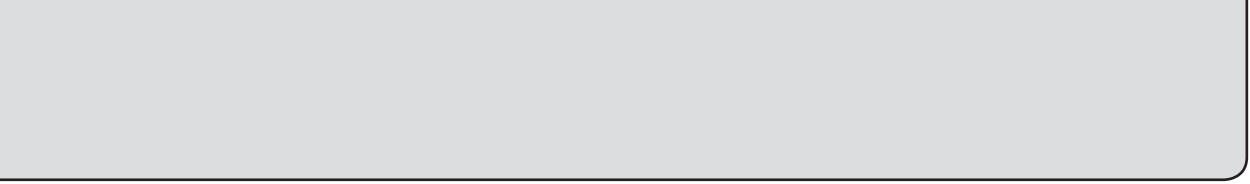
Press
MENU

◇ おしらせ ◇

誤ってメニューを英語にしてしまったときは

- メニュー画面で「機能切換」 - 「Language(言語)」を選んで決定し、「日本語」を選んで決定すると日本語になります。

MEMO



シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
ビジネスソリューション事業推進本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2012.6)